

令和 6年度（ ） 第 S-02 号

各小学校児童用トイレ及び多目的トイレ整備工事（その2）

薦原小学校児童用トイレ等整備工事
桔梗が丘小学校児童用トイレ等整備工事

発注者：名張市 総務部 公共施設マネジメント室

設 計：白鳳アーキテック株式会社

薦原小学校児童用トイレ等整備工事

図 面 リ ス ト							
N o .	図 面 名 称	N o .	図 面 名 称	N o .	図 面 名 称	N o .	図 面 名 称
A－00	表紙・図面リスト	A－11	3階全体現況平面図	E－01	特記仕様書	M－01	特記仕様書
A－01	改修工事特記仕様書－1	A－12	1階多目的便所平面図・天井伏図	E－02	1階平面図 電灯設備・誘導支援設備	M－02	換気機器・衛生器具表
A－02	改修工事特記仕様書－2	A－13	1階多目的便所展開図 現況・改修後	E－03	2・3階平面図 電灯設備	M－03	1階平面図
A－03	改修工事特記仕様書－3	A－14	1階便所平面図	E－04	1階多目的便所平面図 コンセント設備	M－04	1階多目的便所平面図
A－04	改修工事特記仕様書－4	A－15	2階便所平面図	E－05	1階多目的便所平面図 電灯設備・誘導支援設備	M－05	1階便所平面図
A－05	特記仕様書－5	A－16	3階便所平面図	E－06	1階便所（東）平面図 コンセント設備	M－06	2階便所平面図
A－06	位置図	A－17	建具表	E－07	3階便所平面図 コンセント設備	M－07	3階便所平面図
A－07	配置図	A－18	部分詳細図				
A－08	仕上表	A－19	1階便所天井伏図				
A－09	1階全体現況平面図	A－20	2階便所天井伏図				
A－10	2階全体現況平面図	A－21	3階便所天井伏図				



特 記		工事名 薦原小学校児童用トイレ等整備工事			 1級建築士事務所 登録（三重1－1987号） 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承 認			管理建築士	印
		図名 表紙・図面リスト	縮尺 －	図面番号 A－00		  	1級 256630号			
						図面提出日	2024／03／22	葦室 敦司		

改 修 工 事 特 記 仕 様 書

I. 工事名称	蕨原小学校児童用トイレ等整備工事
II. 工事概要	
1 工事場所	三重県名張市蕨生 地内
2 敷地面積	－ m2
3 工事内容	
様名称	小学校
構造	鉄筋コンクリート造 地上3階
建築面積	－ m2
延べ面積	－ m2
工事項目	便所改修工事

- III. 建築改修工事仕様
- 1 共通仕様
- 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書 令和5年7月制定版」及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。
- 2 特記仕様
- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
- (3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修標準仕様書の該当項目等を示す。

章	項 目	特 記 事 項																					
1 一 般 共 通 事 項	① 適用基準等	1) 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和最新年版） 2) 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和最新年版）																					
	② 施工条件 (1. 3. 5)	○ 監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ～ 時 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 工事着手は住民説明会（受注者も出席のこと）開催後とする。																					
	3 部分引渡し、 部分使用	・ 部分引き渡しあり ・ 部分使用あり 指定部分（ ） 時 期（平成 年 月 日～ ）																					
	4 埋蔵文化財調査	埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。 ・ 発掘調査等の実施あり ・ 発見された場合、発掘調査等の実施あり																					
	⑤ 発生材の処理等 (1. 3. 12)	○ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。 分別解体等の方法																					
		<table><tr><th>工程</th><th>作業の有無</th><th>分別解体等の方法</th></tr><tr><td>造成等</td><td>・ 有 ○ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>基礎・基礎ぐい</td><td>・ 有 ○ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>上部構造部分・外装</td><td>・ 有 ○ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>屋根</td><td>・ 有 ○ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>建築設備・内装等</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>その他 ()</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr></table>	工程	作業の有無	分別解体等の方法	造成等	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	上部構造部分・外装	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	屋根	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	その他 ()	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
	工程	作業の有無	分別解体等の方法																				
	造成等	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
	基礎・基礎ぐい	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
	上部構造部分・外装	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
	屋根	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																					
その他 ()	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
	・ 引き渡しを要するもの ・ 特別管理産業廃棄物 ・ 現場において再利用を図るもの ○ 再資源化を図るもの ○ 成形板等の解体・撤去にあたっては、事前に右締含有に係る施工調査を行う。含有が判明した等の場合、改修標準仕様書(9.1.5)に従い処理する。																						
⑥ 建設副産物情報交換システムの利用	再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は受注時において工事請負代金額が100万円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。																						
7 三重県産業廃棄物税	本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。																						
⑧ 電気保安技術者 (1. 3. 3)	配置する																						
⑨ 技能士 (1. 6. 2)	職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。																						
⑩ 施工数量調査 (1. 5. 2)	調査範囲及び調査方法 ・ 工種別の特記による																						
11 調査のための破壊部分の補修 (1. 5. 3)	補修方法 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）																						

- ⑫ 建築材料等
- 1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」（最新版）（以下「評価名簿」という。）と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先利用に努めること。
- 2) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取扱業者から購入するよう努めること。
- 3) 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督員に提出すること。
- 4) 本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」やあかね材認証機構が認証する「あかね材」の優先利用に努めること。
- 5) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。
- 6) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。
(認定製品の品名：)
- 7) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するよう努める。
認定製品の品名： ・ 間伐材製工用用バリエード ・ 間伐材工用用看板 ・ 間伐材標示板 ・ ()

13 化学物質の濃度測定
(1. 6. 9)

測定対象化学物質（●で示したものとする。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
	学校 教育施設	●		●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
	その他	●		●			

測定対象室及び測定箇所数 ・ 図示（図面番号： ） ・ (空き部屋にて実施 P1-201)
測定方法 (・ パッシブ法 ・ アクティブ法)
測定時期 ・ (工事完了後)
報告書提出部数 2部

- ⑭ 特別な材料の工法
- 改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。
- ⑮ 騒音・振動の防止
- 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

- ⑯ 工事写真
(1. 2. 4)
- 営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部（平成31年版）)に従い撮影すること。
なお、デジタル工事写真の黒板板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の黒板板情報電子化について（平成29年3月1日付け国営第211号）」による。

- ⑰ 完成図等
(1. 8. 2)
- 作成する (○ 完成図 ・ 保全に関する資料 ・ ())
完成図作図範囲（配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等）
完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる使用权は発注者に移譲するものとする。

- 18 完成写真
- デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。（A4版用紙に1ページあたり3枚） 1部
箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。
・ アルバム（大きさ335mm×290mm程度、カラー） 1部

- 19 電子納品
- 工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき電子媒体も提出すること。
(提出部数 ・ 3部 ・ 部)
工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」に基づき電子媒体も提出すること。
(提出部数 ・ 3部 ・ 部)

- ⑳ 設備工事との取合い
- 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強
○ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強
・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
・ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び 操作スイッチ
施工図
○ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

- ㉑ 既存部分等への処置
(1. 3. 13)
- 工事施工に際し、既存部分を汚損した場合は又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。

- ㉒ 事故の発生時
- 工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

- ㉓ 市内企業優先使用
- 本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（2次以下の請負人を含む）を市内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するように努めること。また、工事場所を所管する建設事務所管内又は隣接する建設事務所管内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者を優先して選定するよう努めること。なお、県外企業を下請契約の相手方に選定する場合は、下請契約締結前に書面により発注者に報告を行うこと。

- 24 総合評価方式
- 本工事で提案不履行があった場合は、本工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価点において発注工事の加算点（満点）の1割を減点します。
暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号）を受けた場合の措置について

- ㉔ 不当介入を受けた場合の措置
- 1) 受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。
2) 1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。
3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

- 26 消防法関係の手続き
- 1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成
・ 本工事 (・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事) ・ 別途工事
2) 防火対象物使用開始届出書
書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。

- ㉕ 主任技術者又は監理技術者
- 1) 技術者要件
工事現場に配置する主任技術者又は監理技術者は、本工事の入札公告で定める技術者要件を満たす者としなければならない。
2) 専任を要しない期間
(1) 現場施工に着手するまでの期間
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。
(2) 検査終了後の期間
検査完成后、検査が終了（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

- ㉘ 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置
- 労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

- 2 仮設工事
- 1 騒音・粉じん等の対策
(2. 1. 3)
- ・ 防音パネル 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ）
・ 防音シート 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ）
- ② 足場
(2. 2. 1)
- 足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり据置き方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。
外部足場 ・ 設置する（設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない
防護シート ・ 設置する（設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない
内部足場 ○ 設置する (○ 脚立) ・ 設置しない

- (表2. 2. 1)
- 材料、撤去材等の運搬方法
種別 (・ A種 ・ B種 ・ C種 ○ D種 ・ E種)
C種：利用可能なエレベーター ()
D種：利用可能な階段 ()

- ③ 既存部分の養生
(2. 3. 1)
- 既存部分の養生 ・ 図示（図面番号： ）
既存フラインド・カーテンの養生
養生方法 (取外し・復旧) 保管場所 ・ 構内既存施設内 ・ ()
固定された備品、机、ロッカーの移動 ・ 行う ・ 行わない

- ④ 仮設間仕切り
(2. 3. 2)
(表2. 3. 1)
- 屋内の仮設間仕切り ・ A種 ○ B種 ・ C種
合板 厚さ ・ 9mm ・ ()
下地：LGS 合板又は石膏ボード 厚さ ○ 9.5mm ・ ()
合板又は石膏ボードの塗装 ・ 行う ○ 行わない
仮設扉 設置箇所 ○ 図示（図面番号： A－09 ）
仕様 ○ 合板張り木製扉 ・ ()

- 5 監督員事務所
(2. 4. 1)
- ・ 構内建物内の一部を使用する。
・ 設置する
監督員事務所の規模(単位：㎡)

適用	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度
----	------	------	------	------	-------

監督員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット
数量	個	個	台	台	台

- ⑦ 仮設便所
- 構内既存の施設
・ 利用できる ○ 利用できない

- ⑧ 工事用水
- 構内既存の施設
○ 利用できる (○ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない

- ⑨ 工事用電力
- 構内既存の施設
○ 利用できる (○ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない
本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。

- ⑩ 交通誘導警備員
- 配置 ○ 図示（図面番号： A-07 ）

特 記	工事名		薦原小学校児童用トイレ等整備工事		HA KUHO Architect 白鳳アーキテック 株式会社 1級建築士事務所 登録（三重1－1987号） 〒518－0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認		管理建築士		印															
	図名		改修工事特記仕様書 1			縮尺		NS		図面番号		A－01		田中		西尾		安井		1級 256630号		萱室 敦司		萱室	
	図面提出日		2024/03/22																						

3

防水改修工事

1

アスファルト防水

(3.3.3)

(表3.3.3)～

(表3.3.10)

工 法

種 別

施 工 箇 所

・ P1B

・ B-1

・ B-2

・ B-3

・ P1E

・ E-1

・ E-2

・ P2E

改質アスファルトルーフィングシート

種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による

・ ()

厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による

・ ()

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート

種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による

・ ()

厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による

・ ()

(3.3.2)

断熱工法の断熱材 (P1B1, P2A1, T1B1, POD1, M3D1, M4D1)

材質 ・ ()

・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3 種 b A (スキンあり)

・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 1 号

・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 2 号

厚さ ・ ()

ルーフドレン回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置

・ 図示 (図面番号:)

(3.3.3) (2) (4)

(3.3.3) (3)

脱気装置 (M3D, POD, POD1, M3D1, M4D1)

・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:), 材質 ())

・ 設けない

・ 仕上塗料 種類 () 使用量 ()

(3.3.5)

保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ

・ 水下80mm以上

・ ()

床タイル張り

・ 水下60mm以上

・ ()

(表8.1.5)

こて仕上げの場合のコンクリートの平たんさ

・ a 種

・ b 種

・ c 種

保護層

・ 設ける

・ 設けない

屋上排水溝の適用

・ 適用する

立上り保護

・ 乾式保護材 ()

・ コンクリート押え

・ れんが (材質 ・ J1S R1250)

・ モルタル押え

2

改質アスファルトシート防水

(3.4.2)

改質アスファルトシート

種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による

・ ()

厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による

・ ()

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート

種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による

・ ()

厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による

・ ()

断熱工法の断熱材 (M3AS1, M4AS1, POAS1)

材質、厚さ ()

図示 ・ ()

(3.4.3)

(表3.4.1)～

(表3.4.3)

工 法

種 別

施 工 箇 所

仕 上 塗 料

・ M4AS

・ AS-T1

・ AS-T2

・ AS-J2

脱気装置

・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:), 材質 ())

・ 設けない

3

合成高分子系ルーフィングシート防水

(3.5.2)

ルーフィングシート

種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による

・ ()

厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による

・ ()

絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート

固定金具の材質及び寸法形状 ・ 図示 ()

断熱工法の断熱材 (POS1, S4S1, S3S1, M4S1)

材質、厚さ ()

・ 図示 ()

(3.5.3)

(表3.5.1)～

(表3.5.3)

工 法

種 別

種 別

仕 上 塗 料

・ S3S

・ S-F1 (S1-F1)

・ S3S1

・ S-F2 (S1-F2)

(3.5.3)

脱気装置

・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:), 材質 ())

・ 設けない

(3.5.4)

既存防水層下地がPVCコンクリート部材の場合

目地処理 ・ 図示 (図面番号:)

増張り ・ 図示 (図面番号:)

保護層の施工 ・ 図示 (図面番号:)

4

塗膜防水

(3.6.3)

(表3.6.1)

(3.6.3) (1)

工 法

種 別

施 工 箇 所

仕 上 塗 料

・ POX

・ L4X

・ X-1

・ X-2

P12: 屋上、バルコニー、階段室

製造所の仕様による

(屋上: トップコート断熱仕様)

脱気装置

・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:), 材質 (ステンレス))

・ 設けない

(3.6.3) (2)

工 法

種 別

施 工 箇 所

・ P1Y

・ P2Y

・ Y-2

2階3階便所床

保護層

・ 図示 (図面番号:)

5

既存防水層表面の仕上塗装の除去

(3.2.6) (3) (4)

(3.2.6) (3) (b)

シーリング

(3.7.2)

(表3.7.1)

(3.7.4～7)

(3.7.8)

7

とい

(3.8.2)

(表3.8.1)

(表3.8.2)

8

アルミニウム製笠木

(3.9.2) (3)

(表3.9.1)

(3.9.3) (2)

(3.9.2) (4)

(3.9.3)

9

保証書

(M4AS, M4AS1, M4C, M4D1)

(L4X)

・ 行う

・ 行わない

・ 行う

・ 行わない

材料

種類

材 種

施 工 箇 所

・ SR-1

シリコーン系

ガラス、水廻り

・ MS-2

変成シリコーン系

サッシ廻り

・ PS-2

ポリサルファイド系

打継ぎ目地、誘発目地

・ PU-2

ポリウレタン系

外壁

※ワーキングジョイントは2面接着、ノンワーキングジョイントは3面接着を原則とする。
※外壁以外の目地で、浴室、流し台、洗面化粧台等 水まわりや、耐温水性が必要な部位は、防カビタイプ 1成分形シリコーン系 (脱オキシム形) シーリングとする。

工 法

・ シーリング充填工法

・ シーリング再充填工法

・ 拡幅シーリング再充填工法

・ ブリッジ工法

シーリング材の試験

・ 簡易接着性試験

・ 引張接着性試験

・ 行わない

材 種

・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー)

・ 配管用鋼管 (白管)

・ ()

とい受金物及び足金物

といの材種

形 状

取付け間隔

工 法

・ 図示 (図面番号:)

部材の種類

・ 押出し250形

・ 押出し300形

・ 押出し350形

・ 板材折曲げ形 (本体幅 () mm、板厚 ・ 2.0mm ・ ())

固定金具の間隔 (mm) 固定方法 ・ ()

表面処理 ・ ()

工 法

既存笠木等の撤去

・ 図示 (図面番号:)

下地補修の工法

・ 図示 (図面番号:)

板材折曲げ形の笠木の取付方法

・ 図示 (図面番号:)

笠木固定金具の工法

・ 図示 (図面番号:)

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

工事区分

材 料 名

保 証 年 数

防水工事

・ 塗膜防水

・ 10年

・ FRP防水

・ 10年

・ シーリング

・ 5年

4

外壁改修工事

1

施工数量調査

・ 行う

・ 行わない

調査範囲

・ 全面

・ ()

調査項目

・ ひび割れ部 (・ 幅0.2mm ・ 0.2mm～1.0mm ・ 1.0mm以上)

・ はがれ及びはく落部分

・ 浮き部

調査方法

・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ)

報告書

2 部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)

2

改修工法の種類

(4.1.4)

(4.1.5)

外 壁

種 類

改 修 工 法

・ コンクリート打放し仕上げ外壁

ひび割れ部

・ 樹脂注入工法

・ Uカットシール材充填工法

・ シール工法

欠損部

・ (充填工法)

ひび割れ部

・ 樹脂注入工法

・ Uカットシール材充填工法

・ シール工法

欠損部

・ 充填工法

・ モルタル塗替え工法

・ アンカーピンニング

・ 部分エポキシ樹脂注入工法

・ 全面エポキシ樹脂注入工法

・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法

・ 注入口付アンカーピンニング

・ 部分エポキシ樹脂注入工法

・ 全面エポキシ樹脂注入工法

・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法

・ 充填工法

・ モルタル塗替え工法

・ Uカットシール材充填工法

・ タイル部分張替え工法

・ タイル張替え工法

・ アンカーピンニング

・ 部分エポキシ樹脂注入工法

・ 全面エポキシ樹脂注入工法

・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法

・ 注入口付アンカーピンニング

・ 部分エポキシ樹脂注入工法

・ 全面エポキシ樹脂注入工法

・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法

・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法

・ タイル部分張替え工法

・ タイル張替え工法

目 地

・ 目地ひび割れ部改修工法

・ 伸縮調整目地改修工法

・ 塗り仕上げ外壁

新規仕上げ

・ 薄付け仕上塗材塗り

・ 厚付け仕上塗材塗り

・ 複層仕上塗材塗り

・ 可とう形改修用仕上塗材塗り

・ 各種塗料塗り

・ マスチック塗材塗り

・ 外壁用塗膜防水材塗り

3

改修工法等

(4.2.2) (1)

(4.3.4)

(4.4.5)

(4.5.5)

樹脂注入工法

種類

・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

注入量 () 注入間隔 ()

・ 手動式エポキシ樹脂注入工法

注入量 () 注入口間隔 ()

・ 機械式エポキシ樹脂注入工法

注入量 () 注入口間隔 ()

材 料

エポキシ樹脂JIS A6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂)

・ 低粘度形

・ 中粘度形

コア抜取検査

・ 行う

・ 行わない

・ 抜取り個数 ()

・ 抜取り部分補修方法 ()

(4.2.2) (2)

(4.3.5)

(4.4.6)

(4.5.6)

・ Uカットシール材充填工法

材 料

・ シーリング用材充填

(・ PU-1 ・ PU-2 ・ ())

・ 可とう性エポキシ樹脂充填

シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填

・ 行う

・ 行わない

(4.2.2) (3)

(4.3.6)

(4.4.7)

・ シール工法

材 料

・ バテ状エポキシ樹脂

・ 可とう性エポキシ樹脂

(4.2.2) (4)

(4.3.7)

(4.4.8)

・ 充填工法

材 料

・ エポキシ樹脂モルタル

・ ポリマーセメントモルタル

(4.2.2) (7)

(4.4.9)

・ モルタル塗替え工法

材 料

・ 現場調査材料

・ 既調査材料

・ 既製目地材の適用及び形状 ()

・ 仕上げ厚 ()

(4.2.2) (5)

(4.4.10)

(図4.4.1)

・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

アンカーピンの本数

・ 標準

・ ()

材 料

・ ステンレス鋼 (SUS304)

・ ()

(4.2.2) (5)

(4.4.11)

(図4.4.2)

・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

アンカーピンの本数及び注入口の数

・ 標準

・ ()

材 料

・ ステンレス鋼 (SUS304)

・ ()

(4.2.2) (5)

(4.4.12)

(図4.4.2)

・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法

アンカーピンの本数及び注入口の数

・ 標準

・ ()

材 料

・ ステンレス鋼 (SUS304)

・ ()

(4.2.2) (6)

(4.4.13)

(図4.4.3)

・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

注入口付アンカーピンの本数

・ 標準

・ ()

材 料

・ ステンレス鋼 (SUS304)

・ ()

呼び径

・ 6mm

・ ()

(4.2.2) (6)

(4.4.14)

(図4.4.4)

・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数

・ 標準

・ ()

材 料

・ ステンレス鋼 (SUS304)

・ ()

呼び径

・ 6mm

・ ()

(4.2.2) (6)

(4.4.15)

(図4.4.4)

・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法

注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置

・ 標準

・ ()

材 料

・ ポリマーセメントスラリー ()

・ 注入口付アンカーピン (・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ())

呼び径

・ 6mm

・ ()

(4.2.2) (8)

(4.5.7)

・ タイル部分張替え工法

張替え材料

・ ポリマーセメントモルタル

・ 接着剤 (一液反応硬化型変成シリコーン樹脂)

・ ()

施工箇所

形状

寸法

耐滑り性

標準・特注色の別

耐凍害性の有無

・ 役物 (・ 一体成形 ・ 接着加工)

・ 試験張り

・ 行う

・ 行わない

・ 見本焼き

・ 行う

・ 行わない

・ 既調査モルタル ・ 使用する

・ 使用しない

(4.2.2) (8)

(4.5.8)

(表4.5.4)

・ タイル張替え工法

タイルの種類

タイルの大きさ

工 法

塗り厚(mm)

・ 外装 タイル

小口以上二丁掛け以下

・ 密着張り

5～8

・ 改良積み上げ張り

7～10

・ 改良圧着張り

下地側 4～6

・ ユニットタイル

・ 25mm角を超え小口未満

・ マスク張り

3～4

・ 小口未満

・ モザイクタイル貼り

3～5

(4.5.15)

・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法

注入口付アンカーピンの本数 (本)

(4.2.2) (9)

(4.5.16)

・ 目地ひび割れ部改修工法

伸縮調整目地改修工法

伸縮調整目地

位置

寸法

× ()

検査

シーリング接着性試験

・ 行う (・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験)

特 記

工事名

改修工事特記仕様書 2

図名

縮尺

図面番号

1級建築士事務所 登録 (三重1ー1987号)

〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地

TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067

E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

承認

田中 西尾 安井

管理建築士

1級 256630号

監 査

監 査 教 司

図 面 提 出 日

2024/03/22

印

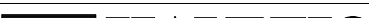
白鳳アーキテック 株式会社

HA-KUHO Architech

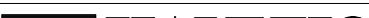
4	塗り仕上げ (4.2.2) (10) (表4.2.4(その1) (その2))		<table><tr><th>種 類</th><th>呼び名</th><th>仕上げ形状</th><th>工 法</th></tr><tr><td rowspan="5">薄付け仕上塗材</td><td rowspan="5">・ 外装薄塗材 E</td><td>・ 砂壁状 ・ ゆず肌状</td><td>吹付け</td></tr><tr><td>・ 平たん状 ・ 凹凸状</td><td>こて</td></tr><tr><td>・ ゆず肌状 ・ さざ波状</td><td>ローラー</td></tr><tr><td>・ 着色骨材砂壁状</td><td>・ 吹付け ・ こて</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td></tr><tr><td rowspan="5">厚付け仕上塗材</td><td rowspan="5">・ 外装厚塗材 C</td><td>・ 吹放し ・ 凸部処理</td><td>吹付け</td></tr><tr><td>・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし</td><td>こて</td></tr><tr><td rowspan="3">・ 外装厚塗材 Si ・ 外装厚塗材 E</td><td>・ 吹放し ・ 凸部処理</td><td>吹付け</td></tr><tr><td>・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し</td><td>・ こて ローラー</td></tr><tr><td>・ ゆず肌状</td><td>ローラー</td></tr><tr><td rowspan="2">複層仕上塗材</td><td rowspan="2">・ 複層塗材 E ・ 複層塗材 RE ・ 防水形複層塗材 E ・ 防水形複層塗材 RE</td><td>・ 凸部処理 ・ 凹凸状</td><td>吹付け</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td></tr><tr><td>可とう形改修用 仕上塗材</td><td>・ 可とう形改修塗材 E ・ 可とう形改修塗材 RE ・ 可とう形改修塗材 CE</td><td>・ 平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状</td><td>ローラー 吹付け</td></tr></table>	種 類	呼び名	仕上げ形状	工 法	薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材 E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状	吹付け	・ 平たん状 ・ 凹凸状	こて	・ ゆず肌状 ・ さざ波状	ローラー	・ 着色骨材砂壁状	・ 吹付け ・ こて	・ ()	・ ()	・ ()	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材 C	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け	・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	こて	・ 外装厚塗材 Si ・ 外装厚塗材 E	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け	・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し	・ こて ローラー	・ ゆず肌状	ローラー	複層仕上塗材	・ 複層塗材 E ・ 複層塗材 RE ・ 防水形複層塗材 E ・ 防水形複層塗材 RE	・ 凸部処理 ・ 凹凸状	吹付け	・ ()	・ ()	・ ()	可とう形改修用 仕上塗材	・ 可とう形改修塗材 E ・ 可とう形改修塗材 RE ・ 可とう形改修塗材 CE	・ 平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状	ローラー 吹付け	・ 外装厚塗 C の上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材所要量 (kg/m2) (4.7.2) (表4.7.1) (表4.2.5) ・ マステック塗材塗り ・ A 種 ・ B 種 複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類 <table><tr><th>樹脂種類</th><th>溶媒種類</th><th>外 観</th></tr><tr><td rowspan="2">・ アクリル系</td><td>・ 溶剤系</td><td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td></tr><tr><td>・ 弱溶剤系</td><td>・ 艶有 ・ 艶無</td></tr><tr><td rowspan="2">・ シリカ系</td><td>・ 水系</td><td>・ 艶有 ・ 艶無</td></tr><tr><td>・ 水系</td><td>・ 艶無</td></tr><tr><td rowspan="2">・ ポリウレタン系</td><td>・ 溶剤系</td><td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td></tr><tr><td>・ 弱溶剤系</td><td>・ 艶有 ・ 艶無</td></tr><tr><td rowspan="2">・ アクリル シリコン系</td><td>・ 溶剤系</td><td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td></tr><tr><td>・ 弱溶剤系</td><td>・ 艶有 ・ 艶無</td></tr><tr><td rowspan="2">・ ふっ素系</td><td>・ 水系</td><td>・ 艶有 ・ 艶無</td></tr><tr><td>・ 水系</td><td>・ 艶有 ・ 艶無</td></tr></table> (注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法 <table><tr><th>種類</th><th>仕上げの形状</th><th>工 法</th></tr><tr><td rowspan="4">外壁用塗膜防水材</td><td>・ 凹凸状</td><td></td></tr><tr><td>・ 凸部処理</td><td>・ 吹付け</td></tr><tr><td>・ ゆず肌状</td><td></td></tr><tr><td>・ さざ波状</td><td>・ ローラー</td></tr></table> (表4.2.6) (4.6.3) 既存塗膜等の除去及び下地処理 <table><tr><th>工 法</th><th>処理範囲</th></tr><tr><td>・ サンダー工法</td><td></td></tr><tr><td>・ 高圧水洗工法</td><td></td></tr><tr><td>・ 塗膜はく離剤工法</td><td></td></tr><tr><td>・ 水洗い工法 (・ デッキブラシ (○) 高圧ポンプ)</td><td>外壁、屋上、庇、階段、巾木、バルコニー、軒天 等</td></tr></table> 下地調整 ・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ () ※軒天などの外装薄塗材 E については、省略とする。	樹脂種類	溶媒種類	外 観	・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水系	・ 艶無	・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ アクリル シリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ ふっ素系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	種類	仕上げの形状	工 法	外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状		・ 凸部処理	・ 吹付け	・ ゆず肌状		・ さざ波状	・ ローラー	工 法	処理範囲	・ サンダー工法		・ 高圧水洗工法		・ 塗膜はく離剤工法		・ 水洗い工法 (・ デッキブラシ (○) 高圧ポンプ)	外壁、屋上、庇、階段、巾木、バルコニー、軒天 等
			種 類	呼び名	仕上げ形状	工 法																																																																																									
			薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材 E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状	吹付け																																																																																									
					・ 平たん状 ・ 凹凸状	こて																																																																																									
					・ ゆず肌状 ・ さざ波状	ローラー																																																																																									
					・ 着色骨材砂壁状	・ 吹付け ・ こて																																																																																									
					・ ()	・ ()	・ ()																																																																																								
			厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材 C	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け																																																																																									
					・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	こて																																																																																									
					・ 外装厚塗材 Si ・ 外装厚塗材 E	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け																																																																																								
・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し	・ こて ローラー																																																																																														
・ ゆず肌状	ローラー																																																																																														
複層仕上塗材	・ 複層塗材 E ・ 複層塗材 RE ・ 防水形複層塗材 E ・ 防水形複層塗材 RE	・ 凸部処理 ・ 凹凸状	吹付け																																																																																												
		・ ()	・ ()	・ ()																																																																																											
可とう形改修用 仕上塗材	・ 可とう形改修塗材 E ・ 可とう形改修塗材 RE ・ 可とう形改修塗材 CE	・ 平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状	ローラー 吹付け																																																																																												
樹脂種類	溶媒種類	外 観																																																																																													
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																																													
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																													
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																													
	・ 水系	・ 艶無																																																																																													
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																																													
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																													
・ アクリル シリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																																													
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																													
・ ふっ素系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																													
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																													
種類	仕上げの形状	工 法																																																																																													
外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状																																																																																														
	・ 凸部処理	・ 吹付け																																																																																													
	・ ゆず肌状																																																																																														
	・ さざ波状	・ ローラー																																																																																													
工 法	処理範囲																																																																																														
・ サンダー工法																																																																																															
・ 高圧水洗工法																																																																																															
・ 塗膜はく離剤工法																																																																																															
・ 水洗い工法 (・ デッキブラシ (○) 高圧ポンプ)	外壁、屋上、庇、階段、巾木、バルコニー、軒天 等																																																																																														
5	建 具 改 修 工 事	1 改修工法 (5.1.3)	・ かぶせ工法 ・ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法																																																																																												
		2 防火戸 (5.1.4)	・ 撤去工法 ・ はつり工法 ・ 引抜き工法																																																																																												
		3 見本の製作 (5.1.5)	・ 例示仕様 ・ 個別認定 (認定番号:) ・ 自動閉鎖機構 ・ 図示 (図面番号:)																																																																																												
		4 防犯建物部品 (5.1.7)	・ 製作する ・ 製作しない																																																																																												
		5 防犯建物部品 (5.1.7)	・ 図示 (図面番号:)																																																																																												
		5 ブラインドボックス等 (5.1.6) (3)	・ 再使用する ・ 再使用しない																																																																																												
		6 アルミニウム製 建具 (5.2.2) (5.2.4) (表5.2.1) (表5.2.2)	外部建具の性能等級等 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ 枠の見込み寸法 ・ 70mm ・ () ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ 結露水の処理方法 ・ 図示 (図面番号:)																																																																																												

7 網戸 (5.2.3) (5)	・ 可動式 ・ 固定式 防虫網の材質 ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製 網目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ
8 樹脂製建具 (5.3.2) ～ (5.3.5) (表5.3.1) ～ (表5.3.3)	外部に面する樹脂製建具の性能等級等 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ガラス ・ 複層ガラス ・ () 建具枠見込寸法 ・ 図示 (図面番号:) 水切り ・ 図示 (図面番号:) ぜん板 ・ 図示 (図面番号:) 丁番 ・ 改修標準仕様書 (表5.7.3) による ・ 図示 (図面番号:)
9 鋼製建具 (5.4.2)	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級)
(5.4.4)	・ H-2400又はW-950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:)
⑩ 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2) (2) (5.5.3) (5.5.4) (5.6.3) (1) (5.2.3) (1)	鋼製軽量建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ H-2400又はW-950の建具 鋼板類の厚さ (○) 図示 (図面番号: A-17) 表面仕上げ ・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面) ・ (焼付塗装)
11 ステンレス製 建具 (5.6.2) (5.4.2)	ステンレス製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級)
(5.6.3)	材料 ・ SUS304 ・ ()
(5.6.4)	表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ()
(5.6.5)	曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ
12 建具用金物 (5.7.2)	金物の見え掛かり部等の材質等 ・ 改修標準仕様書 (表5.7.1) による ・ 図示 (図面番号:)
(5.7.4)	マスターキー ・ 製作する (既設合わせ) ・ 製作しない 引渡用鍵箱 ・ 必要 ・ 不要
13 自動ドア開閉 装置 (5.8.2)	駆動装置及び検出装置の性能値 (・ 多機能トイレ出入口用) ・ 図示 (図面番号:)
(5.8.3) (表5.8.4)	引き戸用検出装置の種類 ・ 図示 (図面番号:)
(5.8.3) (7)	凍結防止措置 ・ あり ・ なし
⑭ 自閉式上吊り 引戸装置 (5.9.3)	自閉式上吊り引戸装置の性能値 ・ 改修標準仕様書 (表5.9.1) による ・ ()
15 重量シャッター (5.10.2)	種類 ・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 耐風圧強度 (Pa以上) 開閉機能 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式 一般重量シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ()
(5.10.2) (3) (表5.10.1)	
(5.10.2) (6) (5.10.3)	
16 軽量シャッター (5.11.2) (表5.11.1) (5.11.3) (5.11.4)	開閉形式 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 手動式 耐風圧強度 (Pa以上) スラットの材質及び形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ () JIS G 3322 ・ AZ90 ・ ()

17	オーバーヘッド ドア (5.12.2)	型式及び機構 セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ																						
		耐風圧強度 (Pa以上)																						
		開閉方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式																						
		収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形																						
		ガイドレール ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板																						
		(○) 図示 (図面番号: A-17)																						
		(5.12.3)																						
		(5.13.2) (1) (5.13.4)																						
		(○) 図示 (図面番号: A-17)																						
		(○) シーリング ・ ガスケット ()																						
20	ガラス溝の寸法、 形状等 (5.13.3)	・ 図示 (図面番号:) (○) 建具の製造所の仕様による																						
		21 ガラスブロック 積み (5.13.5)																						
		ガラスブロック 表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号:) 金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号:)																						
		化粧カバー ・ 図示 (図面番号:) 工法 ・ 図示 (図面番号:) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。																						
		6 内 装 改 修 工 事	(○) 一般事項 (6.1.3) (2)	既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 <table><tr><th>改修部分</th><th>改 修 範 囲</th></tr><tr><td>(○) 天井</td><td>(○) 図示</td></tr><tr><td>(○) 壁</td><td>(○) 図示</td></tr><tr><td>(○) 床</td><td>(○) 図示</td></tr></table>	改修部分	改 修 範 囲	(○) 天井	(○) 図示	(○) 壁	(○) 図示	(○) 床	(○) 図示												
				改修部分	改 修 範 囲																			
				(○) 天井	(○) 図示																			
				(○) 壁	(○) 図示																			
				(○) 床	(○) 図示																			
				(6.1.3) (3)																				
(6.1.3) (5)																								
(○) 既存床撤去、下 地補修 (6.2.2) (1) (7)																								
(6.2.2) (1) (4)																								
(6.2.2) (3)																								
3 既存壁撤去、下 地補修 (6.3.2)																								
4 木下地等 (6.5.1) (3) (表6.5.1) (表6.5.2) (6.5.2) (1) (4) (表6.5.3) (6.5.2) (2) (7)																								
表面仕上げ 機械加工 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 手加工 ・ H-A 種 ・ H-B 種 ・ H-C 種 木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比) <table><tr><th>部材名称</th><th>種 別</th></tr><tr><td>下地材</td><td>・ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>造作材</td><td>・ A 種 ・ B 種</td></tr></table>	部材名称	種 別	下地材	・ A 種 ・ B 種	造作材	・ A 種 ・ B 種																		
部材名称	種 別																							
下地材	・ A 種 ・ B 種																							
造作材	・ A 種 ・ B 種																							
製材 「製材の日本農林規格」による製材 <table><tr><th>部位</th><th>樹種・寸法・形状</th><th>等級</th><th>含水率</th><th>保存処理</th><th>材面の品質</th></tr><tr><td>下地用 針葉樹製材</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td></tr><tr><td>造作用 針葉樹製材</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td></tr><tr><td>広葉樹製材</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td></tr></table>	部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質	下地用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	造作用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	広葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()
部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質																			
下地用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																			
造作用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																			
広葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																			
(6.5.2) (2) (4) (6.5.2) (2) (9) (表6.5.4)																								
「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示 (図面番号:) 造作材の材面の品質 ・ A 種 ・ () 樹種 <table><tr><th>部 位</th><th>樹 種</th><th>県 産 材</th></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table>	部 位	樹 種	県 産 材																					
部 位	樹 種	県 産 材																						
(6.5.2) (3) (7)																								
造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <table><tr><th>部 位</th><th>品 名 ・ 樹 種</th><th>見付け材面の寸法・品質・数</th><th>厚さ</th></tr><tr><td>造作用集成材</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td rowspan="2">／</td></tr><tr><td>化粧ばり造作用 集成材</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td></tr><tr><td>化粧ばり構造用 造作用集成柱</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td> </td><td>・ () ／ ・ ()</td></tr></table>	部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ	造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	／	化粧ばり造作用 集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	化粧ばり構造用 造作用集成柱	・ 図示 (図面番号:)		・ () ／ ・ ()									
部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ																					
造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	／																					
化粧ばり造作用 集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)																						
化粧ばり構造用 造作用集成柱	・ 図示 (図面番号:)		・ () ／ ・ ()																					
※三重県産材を使用すること。																								

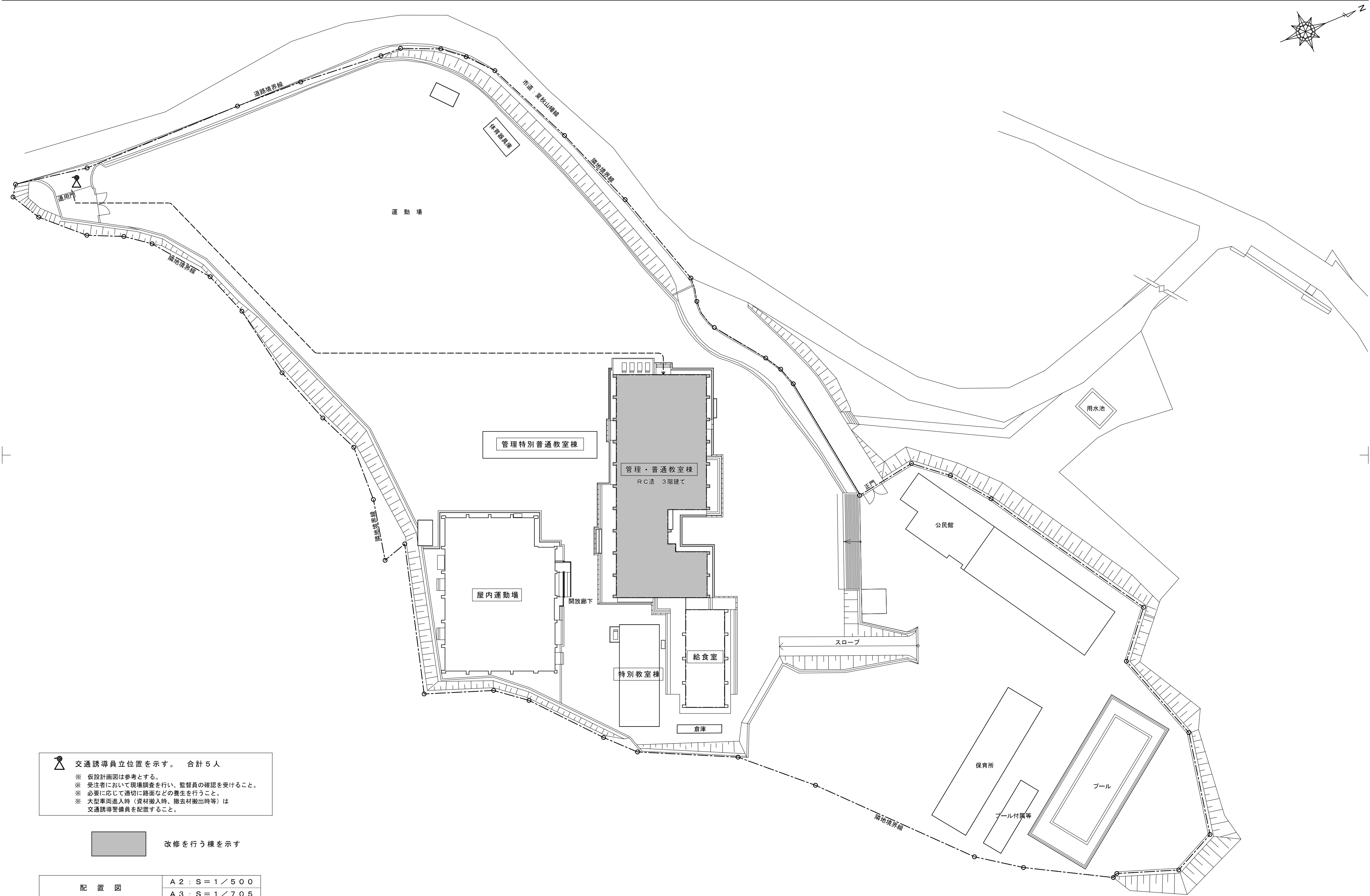
特 記	工事名 薦原小学校児童用トイレ等整備工事			 1級建築士事務所 登録 (三重1ー1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承 認			管 理 建 築 士		印
					田中 西尾 安井	1級 256630号		萱室		
	図名 改修工事特記仕様書 3				縮尺 N S	図面番号 A-03	図面提出日 2024/03/22	萱室 敦司		

特記仕様書 5 は、 特記仕様書 1 ～ 4 に記載のない工事種目に適用する。		6 場所打ちコンクリート杭地業		コンクリートの設計基準強度、種別 (・ N/mm ²) (・ A種 ・ B種 ・図示による) (4.5.4) (表4.5.1) セメントの種類 6章コンクリート工事のセメントの種類による 構造体コンクリートの強度と供試体の強度の差を考慮した割増は N/mm ² 鉄筋の種類 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による (4.5.4) 鉄筋のかぶり厚さ (mm) ※100 掘削工法 ・ (4.5.5) (4.5.6) 根入れ深さ ・ 1m以上 ・ () 杭の水平方向の位置ずれの精度 ・ mm以下 ・ () 孔壁の超音波測定器による確認 ・ 行う ・ 行わない	
⑦ 割り石、砂、砂利 捨コンクリート地業		◎ 砂利地業 厚さ (mm) ・ 60 ◎ 図示による (4.6.3) ※再生クラッシュラン (40～0) ・ 切込み砕石 ・ 捨コンクリート地業 厚さ (mm) ・ 50 ・ 図示による (4.6.4) ・ 床下防湿層 ポリエチレンフィルム 厚 0.15mm (4.6.5) 施工場所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)			
①鉄筋の種類 (5.2.1) (表5.2.1)		種類 ◎ S D295A ※ D16以下 ・ S D345 ※ D19以上		種類 ◎ S D295A ※ D16以下 ・ S D345 ※ D19以上	
②溶接金網		網目の形状 (※正方形 ・) (5.2.2) 鉄線の径 () mm 寸法 () ◎ 図示		網目の形状 (※正方形 ・) (5.2.2) 鉄線の径 () mm 寸法 () ◎ 図示	
③材料試験		※JIS規格品については径の異なるごとに2 t未満の場合は規格証明書 の提出を省略することができる。		※JIS規格品については径の異なるごとに2 t未満の場合は規格証明書 の提出を省略することができる。	
④継手及び定着 (5.3.4)		鉄筋の継手方法 ※径 D19mm以上の柱、梁の主筋はガス圧接、その他は重ね継手 ・ 重ね継手 ・ 柱、はり主筋のかさね継手長さ () 定着 ※表5.3.4による。ただし、設計図書にて別記のあるものは設計図書による。		鉄筋の継手方法 ※径 D19mm以上の柱、梁の主筋はガス圧接、その他は重ね継手 ・ 重ね継手 ・ 柱、はり主筋のかさね継手長さ () 定着 ※表5.3.4による。ただし、設計図書にて別記のあるものは設計図書による。	
5 耐久上不利な箇所等の鉄筋のかぶり厚 (5.3.5)		◎ 耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下記による。		◎ 耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下記による。	
⑥各部配筋 (5.3.7)		各部配筋参考図 1 節「基礎及び基礎梁の配筋」から 7 節「梁貫通孔及びその他の配筋」に準じる		各部配筋参考図 1 節「基礎及び基礎梁の配筋」から 7 節「梁貫通孔及びその他の配筋」に準じる	
7 杭頭の補強方法 (別図1.1)		・ A 形 ・ B 形 ※図 示		・ A 形 ・ B 形 ※図 示	
8 帯筋 (別図2.2)		帯筋の形状 ・ H 形 ・ W-I 形 ※ S P 形 (スパイラル筋) ・ 丸 形 ・ ハンチの傾斜 (※1：4 ・)		帯筋の形状 ・ H 形 ・ W-I 形 ※ S P 形 (スパイラル筋) ・ 丸 形 ・ ハンチの傾斜 (※1：4 ・)	
9 ハンチの傾斜 (別図3.1)		ハンチの傾斜 (※1：4 ・)		ハンチの傾斜 (※1：4 ・)	
10 壁開口部補強の種類 (別図4.2)		一般型 (・ A 形 ※ B 形 ・ 図示) 耐震壁 (※図示)		一般型 (・ A 形 ※ B 形 ・ 図示) 耐震壁 (※図示)	
11 はり貫通孔の補強 (別図7.1) (表7.1～3)		補強形式 ・ H 形 ・ M 形 ・ MH形 ・ 図 示 (別図7.1) (表7.1～3) ・ 既製型 (建設技術評価規定において評価を取得したもの又は、 (財)日本建築センターの評価を取得した製品)		補強形式 ・ H 形 ・ M 形 ・ MH形 ・ 図 示 (別図7.1) (表7.1～3) ・ 既製型 (建設技術評価規定において評価を取得したもの又は、 (財)日本建築センターの評価を取得した製品)	
12 機械吊上げ用フック					
13 圧接完了後の検査 (5.4.3) (5.4.10)		検査方法 ・ 引張試験 ※超音波探傷試験		検査方法 ・ 引張試験 ※超音波探傷試験	
①コンクリートの種類 (4.3.1) (4.3.3)		種別 ※Ⅰ 類 ・ Ⅱ 類 (6.2.1) (6.4.1) (6.4.3) (表6.2.1) 普通コンクリートの気乾単位容積質量 ・ 2.1t/m ³ を超え2.5t/m ³ 以下 ・ (6.2.3) 仕上りの平たんさ種別 ・ a 種 ・ b 種 ・ c 種 (6.2.5) (表6.2.5) 普通コンクリート (6.2.2) 設計基準強度 Fc(N/mm ²) 施 工 箇 所 (※)21 土間コンクリート、スラブコンクリート ・ 24		種別 ※Ⅰ 類 ・ Ⅱ 類 (6.2.1) (6.4.1) (6.4.3) (表6.2.1) 普通コンクリートの気乾単位容積質量 ・ 2.1t/m ³ を超え2.5t/m ³ 以下 ・ (6.2.3) 仕上りの平たんさ種別 ・ a 種 ・ b 種 ・ c 種 (6.2.5) (表6.2.5) 普通コンクリート (6.2.2) 設計基準強度 Fc(N/mm ²) 施 工 箇 所 (※)21 土間コンクリート、スラブコンクリート ・ 24	
②設計基準強度					
③セメントの種別 (6.3.1) (6.13.2) (表6.3.1)		※普通ポルトランドセメント又は混合セメントの A 種 ・ 高炉セメント B 種 ・ フライアッシュセメント B 種 ・ 早強ポルトランドセメント ・ 普通エコセメント		※普通ポルトランドセメント又は混合セメントの A 種 ・ 高炉セメント B 種 ・ フライアッシュセメント B 種 ・ 早強ポルトランドセメント ・ 普通エコセメント	
④骨材の種類 (6.3.1) (6.5.4)		アルカリシリカ反応による区分 ※ A フェロニッケルスラグ細骨材等 ※使用しない ・ 使用 (部位：)		アルカリシリカ反応による区分 ※ A フェロニッケルスラグ細骨材等 ※使用しない ・ 使用 (部位：)	
⑤混和材料 (6.3.1) (6.3.2)		※混和剤は、JIS A 6204 (コンクリート用化学混和剤) による A E 剤、 A E 減水剤又は高性能 A E 減水剤とする。 ・ 混和材 ※フライアッシュ (JIS A 6201)		※混和剤は、JIS A 6204 (コンクリート用化学混和剤) による A E 剤、 A E 減水剤又は高性能 A E 減水剤とする。 ・ 混和材 ※フライアッシュ (JIS A 6201)	
⑥調査管理強度 (6.3.2) (表6.3.2) (6.12.2)		構造体強度補正值 (S) (外構除く) (普通ポルトランドセメント) 打 設 期 間 補正值 (N/mm ²) 備 考 2/27～7/5 9/ 3～11/18 3.0 11/19～2/26 6.0 7/ 6～9/ 2 6.0 暑中期間 外部に面するコンクリート打ち放し仕上げの打増し ・ 20 ※図示 (6.8.1) 打ち継ぎ目地 ※幅 20×深さ 10 ・ 図示 (6.6.4) (9.7.3) ひび割れ誘発目地 ※幅 20×深さ 10 ・ 図示 (6.8.1) (9.7.3) せき板の種類 ※厚さ 12mm ・ (6.8.2) ※下記のいずれかとする。 (1) 「コンクリート型枠用合板の農林規格」による表面加工品 (2) 「コンクリート型枠用合板の農林規格」による B－C (3) 床型枠用鋼製デッキプレート 打ち放し仕上げの種別 (6.2.5) (表6.2.4) 種 別 施 工 箇 所 ・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 ・ スリープ材料 (6.8.2) (表6.8.1) 材質 ※標仕 6.8.2(9)による ・ 鋼管 ・ 硬質強化ビニール管 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ つば付鋼管 8 フレッシュコンクリート試験・強度試験 (6.9.2) (6.9.3) (表6.9.1) (表6.9.2) ※コンクリートの強度試験の試験回数は、下記による。 20m ³ 以下の場合の試験については、監督職員の指示による。 20～50m ³ の場合は任意の一車より試料を採取し、各3個供試体を作成する。 50m ³ 以上は 標仕 6.9.3(1) による。 ⑨ 軽量コンクリートの種別 (6.10.2) (表6.10.1) 種 別 ※1種 ・ 2種 施工場所 () 気乾単位容積重量 (t/m ³) (※1.8～2.1t/m ³ 程度 ・) ・ 適用箇所 () (6.13.1) セメントの種類 ※高炉セメント B 種 (6.13.2) スランプ ※15cm (6.13.2) 10 マスコンクリート 材料・品質 (6.14.2) (6.14.3) 粗骨材の最大寸法 (mm) (捨コンクリート及び防水押えコンクリートの場合 ※25 ・) 種 類 スランプ 設計基準強度 Fc (N/mm ²) 施 工 箇 所 普通コンクリート ※15又は18 ※ 18 捨てコンクリート ・ ・ 8 章 コ ン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク ・ A L C パ ネ ル ・ 押 出 成 形 セ メ ン ト 板 工 事 1 補強コンクリートブロック造の材料 (8.2.2) (表8.2.2) (a) 種類 ・ 16 N/mm ² 普通ブロック 厚さ ・ 100 ・ 120 ◎ 150 ・ (8.2.2) ・ 16 N/mm ² 防水ブロック 厚さ ・ 100 ・ 150 表 8.2.2 以外のコンクリートの設計基準強度 (Fc) ※21N/mm ² ・ (8.2.4) 2 コンクリートブロック帳壁及び坪 (8.3.2) (a) 種類 ※表 8.3.1 による 厚さ ・ 100 ・ 120 ・ 150 (8.3.2) (b) コンクリートの設計基準強度 (Fc) ※21N/mm ² ・ (C) 各部の配筋 ※標仕 各部配筋参考図 7.3 による ・ 図 示 (8.4.2～8.4.5) (表8.4.2～4) 種 類 単位荷重 (N/m ²) 厚さ (mm) 耐火性能 取付け工法 (種別) ・ 外壁パネル ・ 1180 ・ 1960 ※100 ・ 125 ・ 間仕切パネル ※100 ・ ・ 屋根パネル ・ 980 ※100 ・ ・ 床パネル ・ 2350 ・ 3530 ・ 100 ・ 150 ・ 有 ・ 無 ※標仕表 8.4.4 による 外壁目地幅 ・ mm ・ 製造所の仕様による (8.4.3) 耐火目地材 ・ (8.4.2) 4 押出成形セメント板 ※厚物 (厚さ 50mm 以上) (8.5.2～8.5.4) (表8.5.1～2) 種類 ※無石棉タイプ (8.5.2～8.5.4) (表8.5.1～2) 施工箇所 表面形状 厚さ (mm) 工 法 耐火性能 ・ 外 壁 ※フラットパネル ・ 50・60 ・ 間仕切り ※フラットパネル ・ 50・60 ・ 薄物 (厚さ 50mm 未満) ・ パネルの開口及び欠き込み (8.5.5) 開口の大きさ 切断後のパネルの残り部分の幅 パネルに開口を設ける場合 短辺 パネル幅の 1／2 以下 1 5 0 mm 以下 長辺 5 0 0 mm 以下 3 0 0 mm 以下 パネルを切り欠く場合 短辺 (パネル幅－3 0 0 mm) 以下 3 0 0 mm 以下 長辺 5 0 0 mm 以下 3 0 0 mm 以下			
22 章 舗 装 工 事		1 路床 ・ 遮断層 厚さ (mm) ・ 材料 ※川砂、海砂、良質な山砂 ・ (22.2.2) ・ 路床安定処理 厚さ (mm) ・ 添加材料の種類 (22.2.3) (表3.2.1) ・ 盛土材料 種別 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 (22.2.2～3) (表21.2.2) ・ フィルター層 厚み ・ 車道 150mm 歩道 50mm ・ 2 路床土の支持力比試験 ・ 行う (・ 乱した土 ・ 乱さない土) ・ 行わない (22.2.5) 3 路床締固め度の試験 ・ 行わない ・ 行う (22.2.5) 4 砂の粒度試験 ・ 行わない ・ 行う ⑤ 路盤材料 路盤の厚さ 車道部 (※150 ・)mm 歩道部 (※100 ・)mm (22.3.2～5) 種別及び呼び名 ※クラッシュラン C－40 又はクラッシュランスラグ C S－40 再生クラッシュラン R C－40 締固め度の検査 ※行う (箇所) ・ 行わない 6 路盤の構成及び仕上がり ・ 標仕 22.3.2(3) は適用しない (22.3.2) ⑦ アスファルト舗装 構成及び厚さ ・ 車道部の基層なし 基層 ー 表層 50mm (22.4.2) ・ 車道部の基層有り 基層 50mm 表層 30mm ◎ 歩道部 基層 ー 表層 30mm 配合その他 (22.4.4) 加熱アスファルト混合物等の種類 (表22.4.4～5) 基層 ・ 粗粒度アスファルト混合物 (20) 表層 ※密粒度アスファルト混合物 (13) 又は密粒度アスファルト混合物 (13 F) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) 試験練り ・ 行う ※行わない シールコート ・ 行う ※行わない (22.4.5) 切取り試験 ・ 行う ※行わない (22.4.6) 平たん性 ※通行に支障となる水たまりを生じない程度 アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない ⑧ コンクリート舗装 構成及び厚さ (22.5.2) 部 位 厚 さ (mm) 施 工 箇 所 大走 車路 ※70 ◎ 150 多目的便所前 コンクリート ※表 22.5.1 による ・ (22.5.3) (表22.5.1) (表22.5.3) 注入目地材 ※低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 厚さの試験 ・ 行う ※行わない (22.5.6) 平たん性 ※通行に支障となる水たまりを生じない程度 9 カラー舗装 構成及び厚さ ※標仕 22.6.2 による ・ (22.6.2) (表22.6.1) 舗装の種類 ・ 加熱系 (・ アスファルト混合物 ・ 石油樹脂系混合物) ・ 常温系 (・ ニート工法 ・ 塗布工法) 車道部の基層 ・ 有り ※無し 10 透水性アスファルト舗装 厚さ ※歩道部 3 0 mm ・ (22.7.2) 平たん性 ※著しい不陸がないもの アスファルト ・ 歩道部 ※ストレートアスファルト (22.7.3) (表22.7.1) 試験練り ・ 行う ※行わない (22.7.4) 開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない (22.7.6) 11 ブロック系舗装 目地材 ※砂 ・ モルタル (22.8.2) 舗石の基層 ※コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 平たん性 ※歩行に支障となる段差がない (3 mm 以下) 舗石の種類 ・ 形状 ・ 寸法 コンクリート平板の種類及び寸法 ・ N300 ・ (22.8.3) インターロッキングブロック 材質 形状 寸法 クッション材 ※砂 ・ 空練りモルタル 12 砂利敷き 材料 ・ A 種 (通路) ・ B 種 (建物周囲その他) (22.9.2)			

特 記	工事名			 1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認			管理建築士	印
	図名				  	1級 256630号			
	工事特記仕様書 5								
	縮尺	NS	図面番号					A-05	
図面提出日			2024/03/22			萱室 敦司	萱室		



特 記	工事名 薦原小学校児童用トイレ等整備工事			 白鳥アーキテック 株式会社 1級建築士事務所 登録（三重1-1987号） 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.on.ne.jp	承認		管理建築士	印
	図名 位 置 図				田中 西尾 安井		1級 256630号	萱室
	縮尺 A2：1/2500 A3：1/3536				図面提出日 2024/03/22		萱室 敬司	
	図面番号 A-06							



交通誘導員立位置を示す。 合計5人

- ※ 仮設計画図は参考とする。
- ※ 受注者において現場調査を行い、監督員の確認を受けること。
- ※ 必要に応じて適切に路面などの養生を行うこと。
- ※ 大型車両進入時（資材搬入時、撤去材搬出時等）は交通誘導警備員を配置すること。

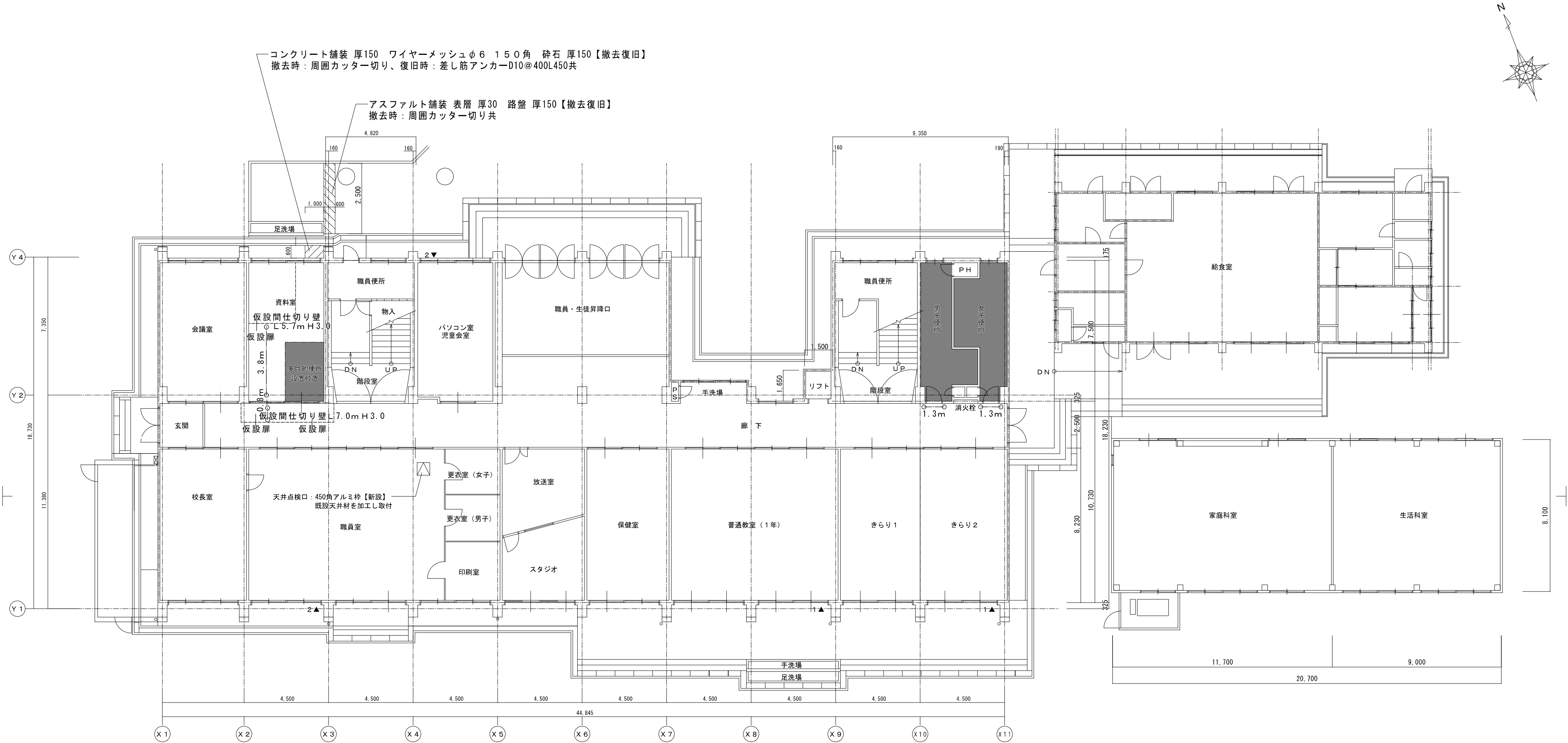
改修を行う様を示す

配 置 図	A 2 : S = 1 / 5 0 0
	A 3 : S = 1 / 7 0 5

特 記	工事名 薦原小学校児童用トイレ等整備工事			 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録（三重1－1987号） 〒518－0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承 認			管理建築士	印	
	図名 配 置 図					縮尺 A2：1／500 A3：1／705	図面番号 A－07	  	1級 256630号	萱室 敦司	
図面提出日 2024／03／22											

内部仕上表														●：有無を示す										
階	部位			床				巾 木				壁				天 井				石綿含有箇所			備考	
				材 料	撤去	材 料	高さ	撤去	材 料	撤去	廻縁	材 料	撤去		高さ	床	壁	天井						
	FL		廻縁										天井											
1階	女子便所	改修前	±0	下地	土間コンクリート 厚100（鉄筋共） ポリエチレンフィルム 厚0.15 砕石 厚80	一部				モルタルコテ押工 AEP仕上				LGS下地				2774			●	トイレブース【撤去】	1階 女子便所 和便取替ネット工法	
			±0	仕上	25角磁器モザイクタイル貼 下地モルタル 厚30	一部	▷			75角半磁器タイル貼 【一部撤去】 一部ガラスブロック積		塩ビ製廻縁	有孔石綿板 厚5.0 底目地貼 VP塗装	一部	一部									
		改修後	±0	下地	土間コンクリート 厚100（鉄筋共） ワイヤーメッシュ φ6×150角 アラミド繊維ネット ポリエチレンシート 厚0.15 砕石 厚80	復旧				現状のまま				現状のまま				2774			●	トイレブース【新設】		
			±0	仕上	25角磁器モザイクタイル貼 下地モルタル	復旧	▷			100角磁器タイル貼 【一部新設】		現状のまま	ケイ酸カルシウム板 厚5、EP塗装（周囲に合わせる）	復旧	復旧									
	男子便所	改修前	±0	下地	土間コンクリート 厚100（鉄筋共） ポリエチレンフィルム 厚0.15 砕石 厚80	一部	▷			モルタルコテ押工 AEP仕上				LGS下地				2774			●	トイレブース【撤去】 天井点検口【脱着復旧】 天井点検口：450角アルミ枠【新設】	1階 男子便所 和便取替ネット工法	
			±0	仕上	25角磁器モザイクタイル貼 下地モルタル 厚30	一部				75角半磁器タイル貼 一部ガラスブロック積		塩ビ製廻縁	有孔石綿板 厚5.0 底目地貼 VP塗装	一部	一部									
		改修後	±0	下地	土間コンクリート 厚100（鉄筋共） ワイヤーメッシュ φ6×150角 アラミド繊維ネット ポリエチレンシート 厚0.15 砕石 厚80	復旧	▷			現状のまま				現状のまま				2774			●	トイレブース【新設】		
			±0	仕上	25角磁器モザイクタイル貼 下地モルタル	復旧				現状のまま		現状のまま	ケイ酸カルシウム板 厚5、EP塗装（周囲に合わせる）	復旧	復旧									
	資料室	改修前	±0	下地	土間コンクリート 厚100（鉄筋共） 砕石 厚80	一部				モルタルコテ押工				LGS下地【現況のまま】				3000			●	天井鋼製吊材 30φ【撤去】 スチール書架【組換え・移設】	資料室	
			±0	仕上	ナラフローリングブロック 厚15 UC塗装 下地モルタル	一部	木製巾木、SOP塗装	100	一部	AEP塗装	一部	塩ビ製廻縁	タイガートーン 厚9.5 底目地貼 EP塗装（裏紙張）	一部	一部									
多目的便所	改修後	±0	下地	土間コンクリート 厚100 ワイヤーメッシュ φ6×150角 4周差筋アンカー（D10@400 L450） ポリエチレンフィルム 厚0.15 砕石 厚80	復旧				LGS下地 設備壁：LGS下地、構造用合板 厚24 H900、1250				LGS下地【新設】				2500				面台：SUS 厚1.2 W110【新設】 天井点検口450角 アルミ枠【新設】 既設鋼製建具三方枠 SOP【塗替】 突出しピクトサイン【新設】	多目的便所		
			仕上	モルタル下地調整の上、長尺塩ビシート貼 厚2.0	復旧	ソフト巾木	100	復旧	耐水合板 厚12、化粧ケイカル板 厚6、 設備壁：化粧ケイカル板 厚6、既設RC壁：EP-G【塗替】		塩ビ製廻縁	化粧石膏ボード 厚9.5	復旧	復旧										
資料室	改修後	±0	下地	土間コンクリート 厚100 ワイヤーメッシュ φ6×150角 4周差筋アンカー（D10@400 L450） ポリエチレンフィルム 厚0.15 砕石 厚80	復旧				LGS下地				現状のまま				3000			●	スチール書架【組換え・移設】	資料室		
			仕上	ナラフローリングブロック 厚15 UC塗装 下地モルタル	復旧	木製巾木、SOP塗装 （多目的便所面：周囲の色に合わせる）	100	復旧	PB 厚12.5、EP塗装（多目的便所面：周囲の色に合わせる）		塩ビ製廻縁	石膏ボード 厚9.5、EP塗装（周囲に合わせる）	復旧	復旧										
廊 下	改修前	±0	下地	土間コンクリート 厚100（鉄筋共） 砕石 厚80					LGS下地				現状のまま				3000	●				廊 下		
			仕上	Pタイル貼 厚3.0 モルタル	一部	木製巾木、OP塗装		一部	モルタルコテ押工 AEP仕上		塩ビ製廻縁													
	改修後	±0	下地	現状のまま				現状のまま								3000	●			床見切：SUS製 HL W20【新設】 突出しピクトサイン【新設】				
		±0	仕上	Pタイル貼 厚3.0 モルタル	復旧	木製巾木、SOP塗装 （多目的便所面：周囲の色に合わせる）	100	復旧	PB 厚12.5、EP塗装（多目的便所面：周囲の色に合わせる）	一部	塩ビ製廻り縁	現状のまま												
2階 3階	女子便所	改修前	±0	下地	軽量コンクリート 厚50、アスファルト防水層 均しモルタル 厚30 スラブコンクリート 厚120（鉄筋共）	一部	▷			モルタルコテ押工 AEP仕上				LGS下地				2774			●	トイレブース【撤去】	2・3階 女子便所	
			±0	仕上	25角磁器モザイクタイル貼 下地モルタル	一部				75角半磁器タイル貼、一部ガラスブロック積		塩ビ製廻縁	有孔石綿板 厚5.0 底目地貼 VP塗装	一部	一部									
		改修後	±0	下地	軽量コンクリート 厚50 アスファルト塗膜防水、均しモルタル 厚30 4周差筋アンカー（D10@400 L450） ワイヤーメッシュ φ6×150角 スラブコンクリート 厚120	復旧	▷			現状のまま				現状のまま				2774			●	トイレブース【新設】		
			±0	仕上	25角磁器モザイクタイル貼 下地モルタル 厚30 木ゴテ押え	復旧	▷			現状のまま		塩ビ製廻縁	ケイ酸カルシウム板 厚5、EP塗装（周囲に合わせる）	復旧	復旧									
	男子便所	改修前	±0	下地	軽量コンクリート 厚50、アスファルト防水層 均しモルタル 厚30 スラブコンクリート 厚120（鉄筋共）	一部	▷			モルタルコテ押工 AEP仕上				LGS下地				2774			●	トイレブース【撤去】	2・3階 男子便所	
			±0	仕上	25角磁器モザイクタイル貼 下地モルタル	一部				75角半磁器タイル貼、一部ガラスブロック積		塩ビ製廻縁	有孔石綿板 厚5.0 底目地貼 VP塗装	一部	一部									
		改修後	±0	下地	軽量コンクリート 厚50 アスファルト塗膜防水、均しモルタル 厚30 4周差筋アンカー（D10@400 L450） ワイヤーメッシュ φ6×150角 スラブコンクリート 厚120	復旧	▷			現状のまま				現状のまま				2774			●	トイレブース【新設】 天井点検口：450角アルミ枠【新設】		
			±0	仕上	25角磁器モザイクタイル貼 下地モルタル 厚30 木ゴテ押え	復旧	▷			現状のまま		塩ビ製廻縁	ケイ酸カルシウム板 厚5、EP塗装（周囲に合わせる）	復旧	復旧									
																					1階職員室 天井点検口：450角アルミ枠【新設】 1階～3階廊下 天井点検口：450角アルミ枠【新設】			
特 記	1） ・一般間仕切壁：高さ2．7m以下：軽鉄スタッド W50下地以上 ・一般間仕切壁：高さ4．0m以下：軽鉄スタッド W65下地以上 ・一般間仕切壁：高さ4．5m以下：軽鉄スタッド W90下地以上 ・一般間仕切壁：高さ5．0m以下：軽鉄スタッド W100下地 2） 各便器、手洗器、各手摺、アクセサリー関係（設備工事）																							

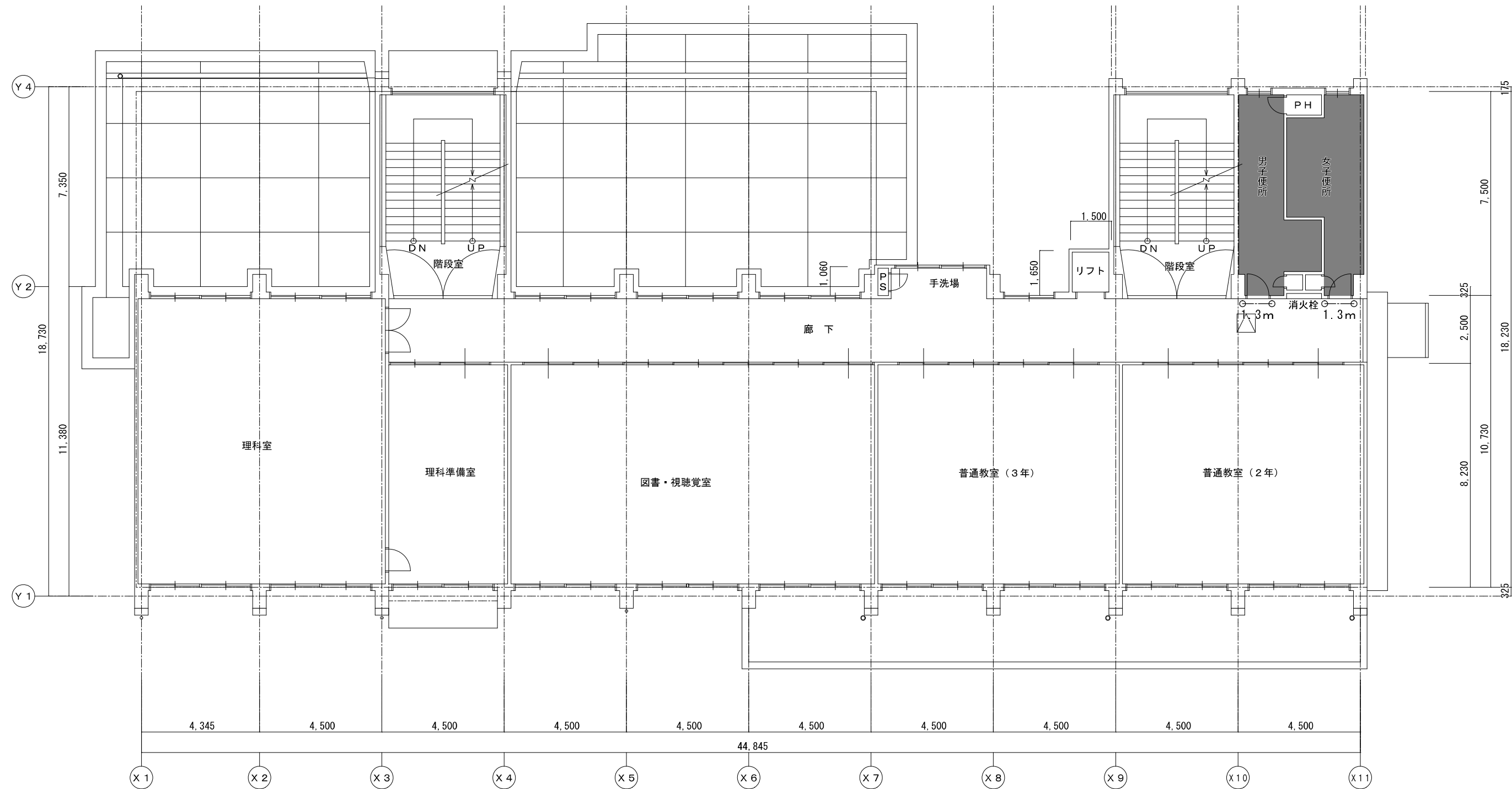
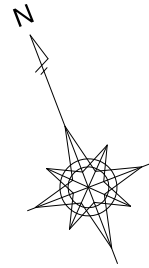
特 記	工事名			 1級建築士事務所 登録（三重1－1987号） 〒518-0775 三重県名張市希失台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp 	承認			管理建築士		印
	薦原小学校児童用トイレ等整備工事				   1級 256630号 萱室 敬司					
	図名	縮尺	図面番号		図面提出日					
	仕 上 表	A2 : ー A3 : ー	A-08							



1 階 平 面 図	A 2 : S = 1 / 1 5 0
	A 3 : S = 1 / 2 1 2

- 【凡 例】
- 仮設間仕切り壁を示す
 - カラーコーン（コーンバー共）
 - ※ 搬出入経路については、既存部分の必要箇所に、ビニールシート、合板等により適切に養生を行う
 - △ 新設点検口を示す
- 改修箇所を示す
- アスファルト舗装改修箇所を示す
- コンクリート舗装改修箇所を示す

特 記	工事名 薦原小学校児童用トイレ等整備工事			 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録（三重1－1987号） 〒518－0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認			管理建築士	印	
	図名 1階平面図・・・【点検口新設位置図】					縮尺 A2：1／150 A3：1／212	図面番号 A－09	田中 西尾 安井	1級 256630号	萱室 敦司	
	図面提出日					2024／03／22					



2 階 平 面 図	A 2 : S = 1 / 1 5 0
	A 3 : S = 1 / 2 1 2

【 凡 例 】

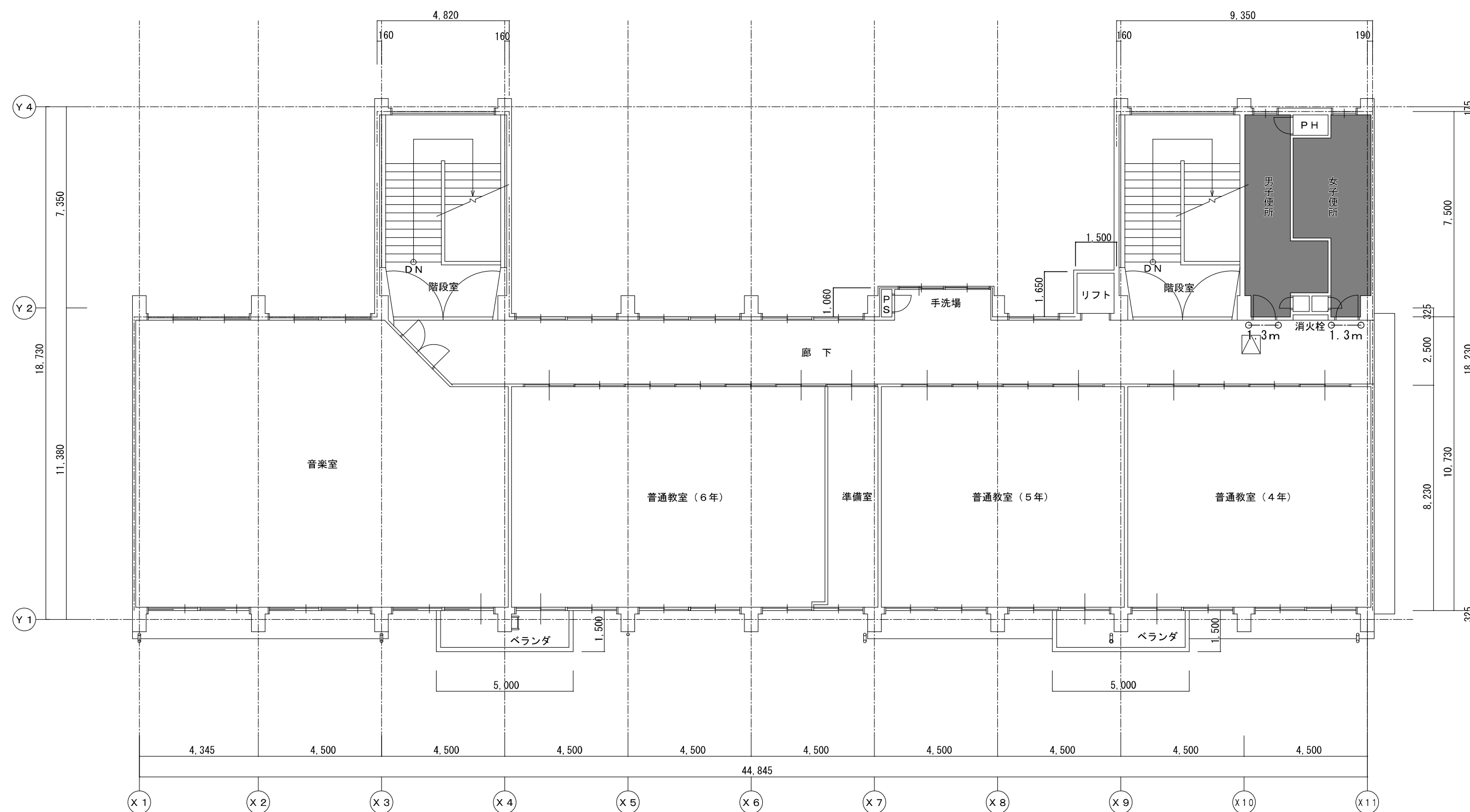
○—○ カラーコーン（コーンバー共）

※ 搬出入経路については
既存部分の必要箇所に、ビニールシート、
合板等により適切に養生を行う

△ 新設点検口を示す

改修箇所を示す

特 記	工事名 薦原小学校児童用トイレ等整備工事			HAKUHO Archi tech 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録（三重1－1987号） 〒518－0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認			管理建築士	印
							田中	西尾	安井	1級 256630号 萱室 敦司
	図面提出日 2024 / 03 / 22									
	図名 2階平面図・・・【廊下部分点検口新設置図】 縮尺 A2：1／150 A3：1／212 図面番号 A－10									



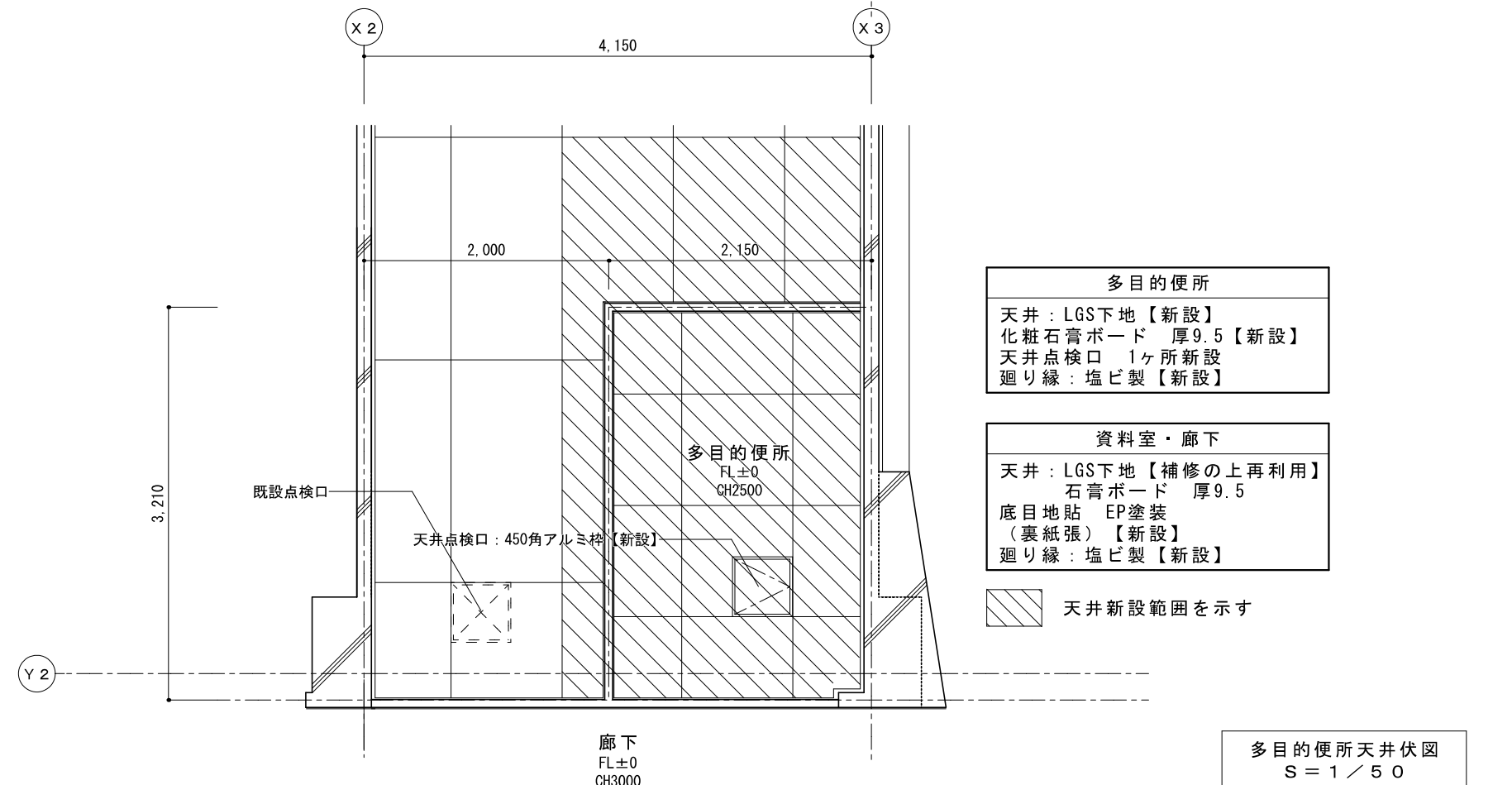
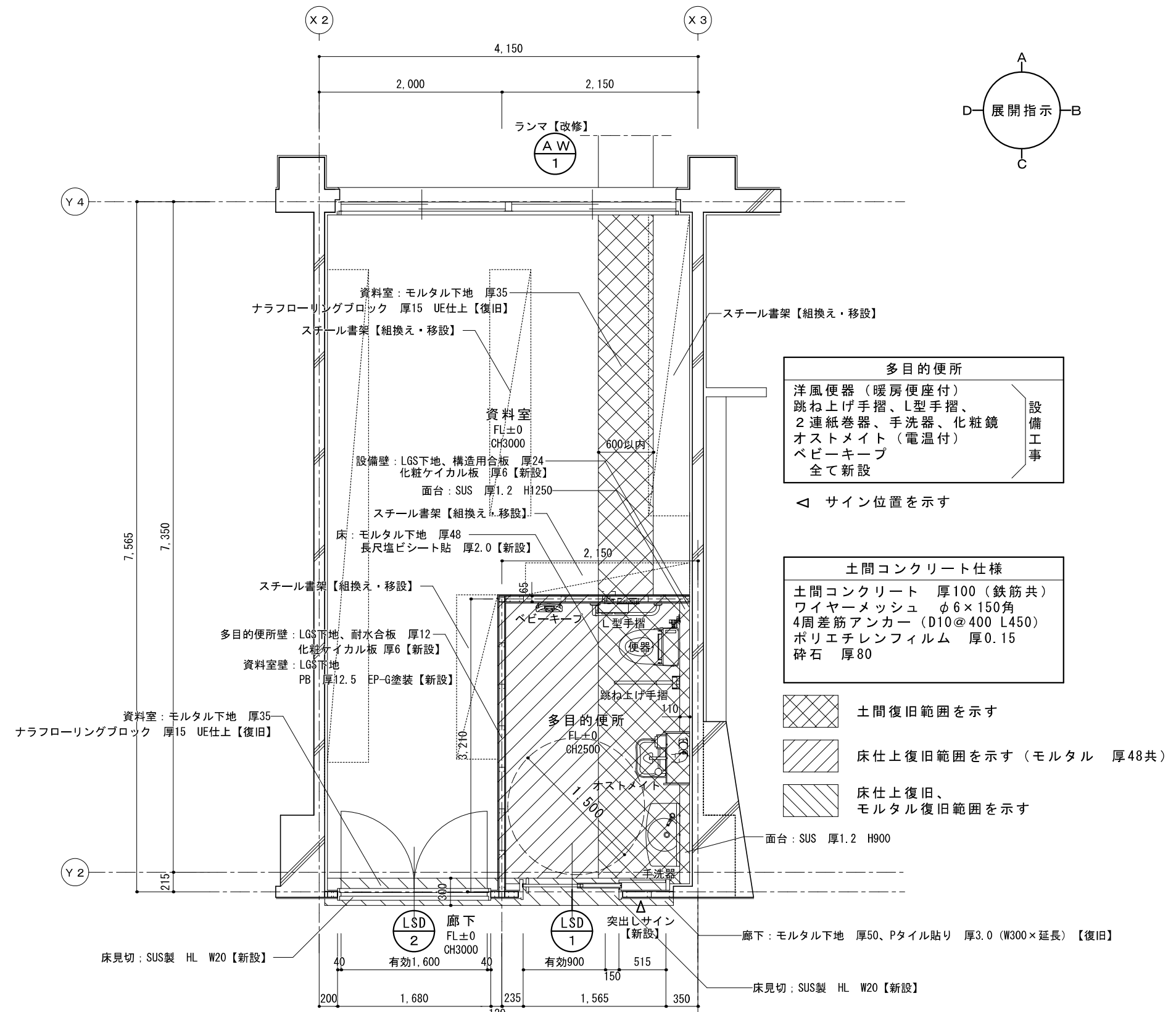
【凡 例】

※ 搬出入経路については
既存部分の必要箇所に、ビニールシート、
合板等により適切に養生を行う

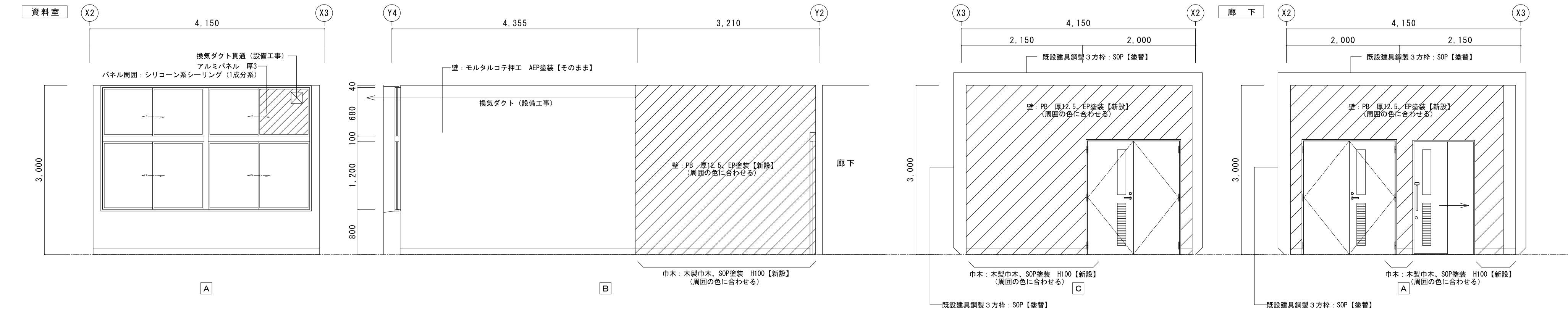
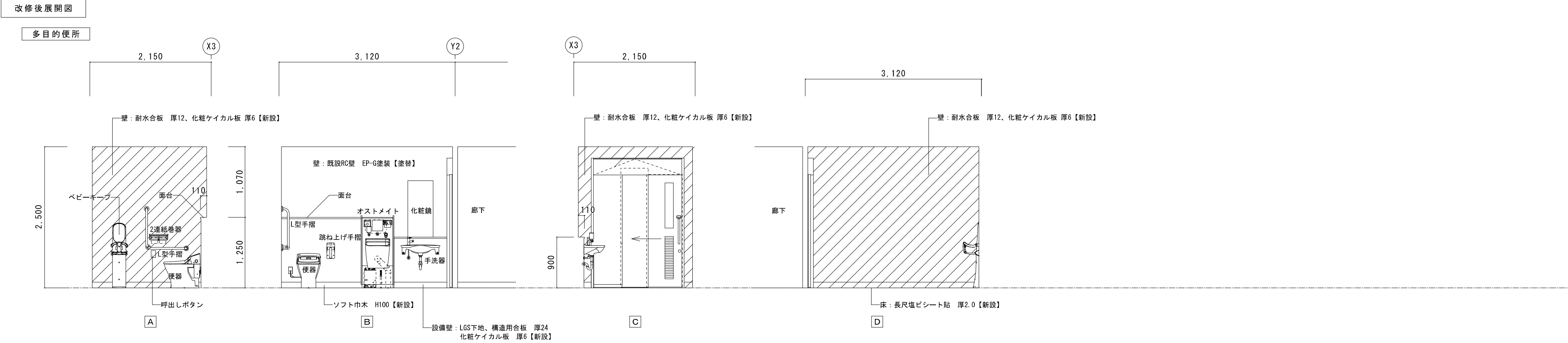
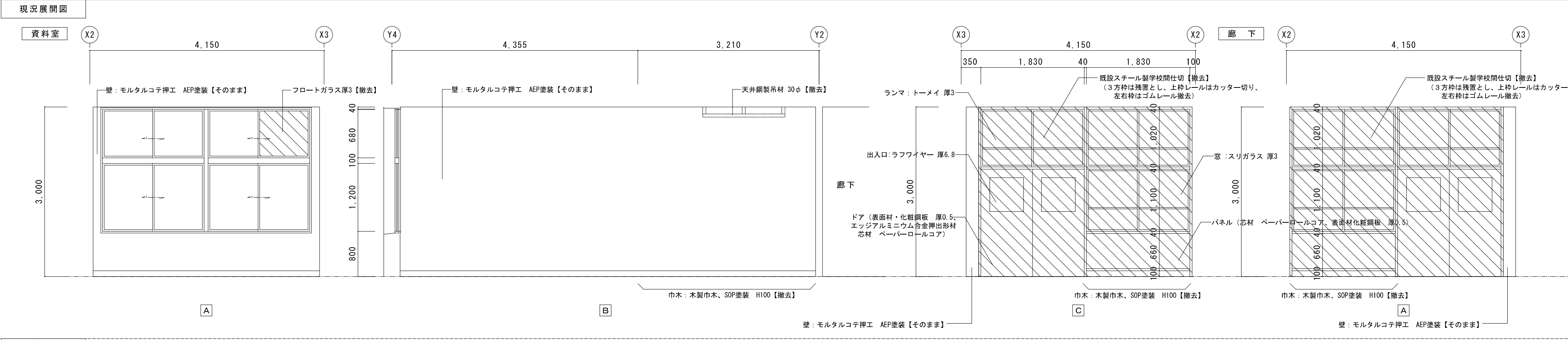
改修箇所を示す

特 記	工事名		 1級建築士事務所 登録（三重1-1987号） 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp		承 認		管理建築士		印	
	薦原小学校児童用トイレ等整備工事				  		1級 256630号			
	図名 3階平面図・・・【廊下部分点検口新設位置図】		縮尺 A2: 1/150 A3: 1/212		図面番号 A-11		図面提出日 2024/03/22		重 室 敦 司	

1 階多目的便所	A 2 : S = 1 / 5 0
改 修 後	A 3 : S = 1 / 7 1

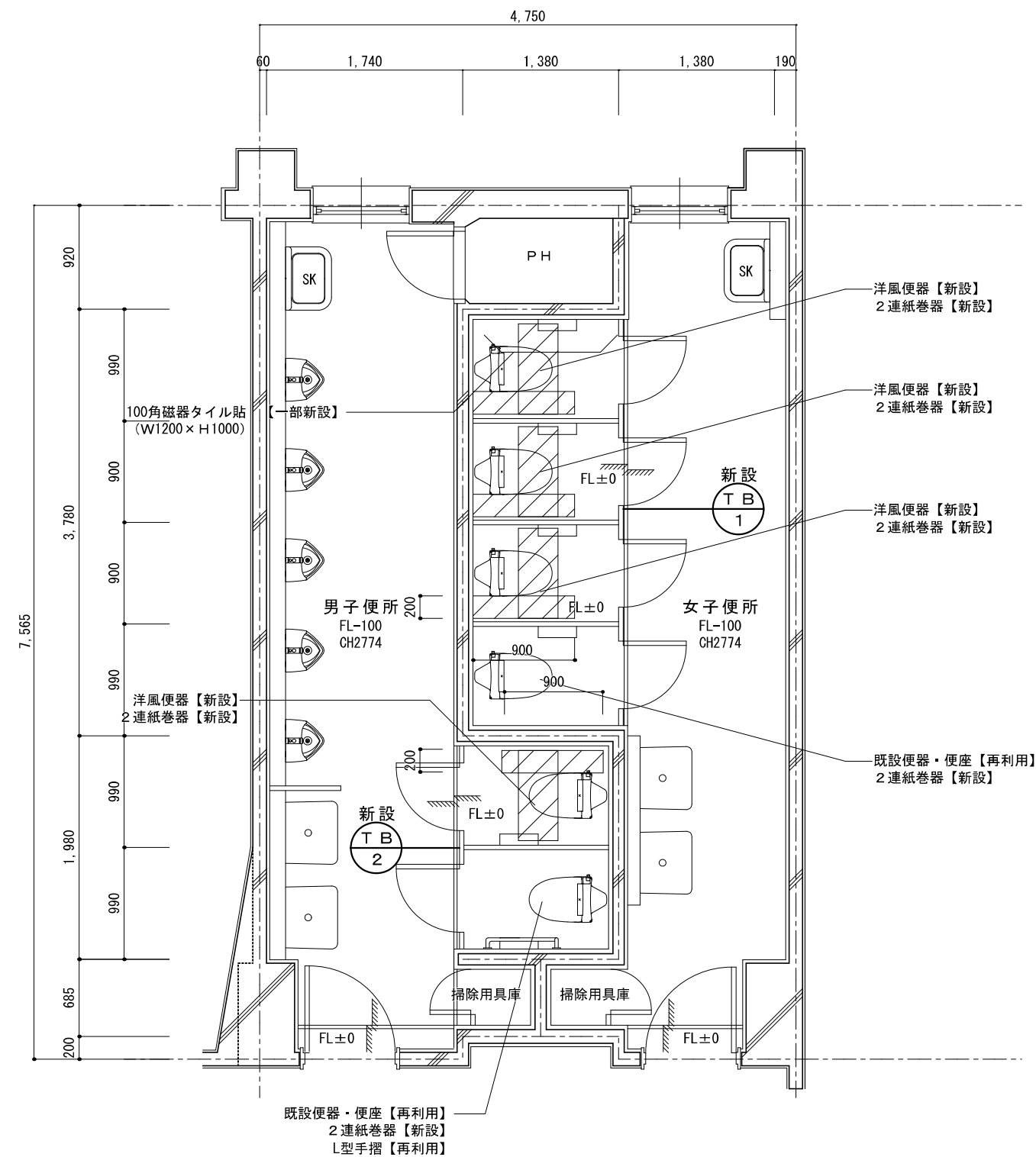


特 記	工事名 薦原小学校児童用トイレ等整備工事			 白鳳アーキテック 株式会社 〒518-0775 三重県名張市希天台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.on.ne.jp	承認		管理 建築士	印
	図名 1 階多目的便所平面図・天井伏図						1級 256630号	
	縮尺 A2 : 1／50 A3 : 1／71				図面番号 A－ 1 2			
	現況・改修後							
					図面提出日		2024/03/22	
							蓋室 敦司	



特 記	工事名 薦原小学校児童用トイレ等整備工事			 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録 (三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認			管理建築士	印		
	図名 1階多目的便所展開図 現況・改修後					縮尺 A2: 1/50 A3: 1/71	図面番号 A-13	 田中	 西尾	 安井	1級 256630号 萱室 敦司	 萱室
図面提出日						2024/03/22						

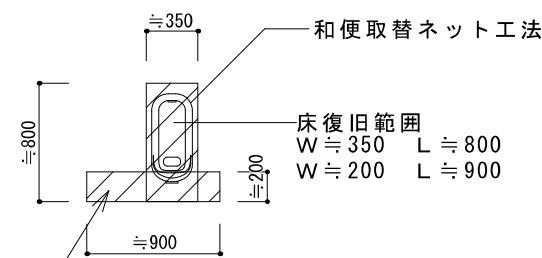
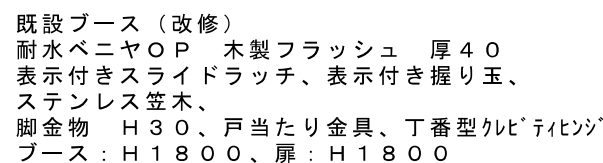
1 階便所	A 2 : S = 1 / 5 0
改 修 後	A 3 : S = 1 / 7 1



女子便所			設備工事
和風便器	3カ所	撤去	
簡易洋風便器	1カ所	撤去	
既設便器（便座共）	1カ所	再利	
紙巻器	5カ所	撤去	
和風便座用手摺	1カ所	撤去	
壁タイル	一部	撤去	
トイレブース		撤去	

男子便所		設備工事
洋風便器 （暖房便座付）	1カ所新設	
既設便器（便座共）	1カ所再利用	
2連紙巻器	2カ所新設	
L型手摺	1カ所再利用	
トイレブース 新設		

女子便所		設備工事
洋風便器 (暖房便座付)	3カ所新設	
既設便器(便座共)	1カ所再利用	
2連紙巻器	4カ所新設	
壁タイル トイレブース	一部新設 新設	



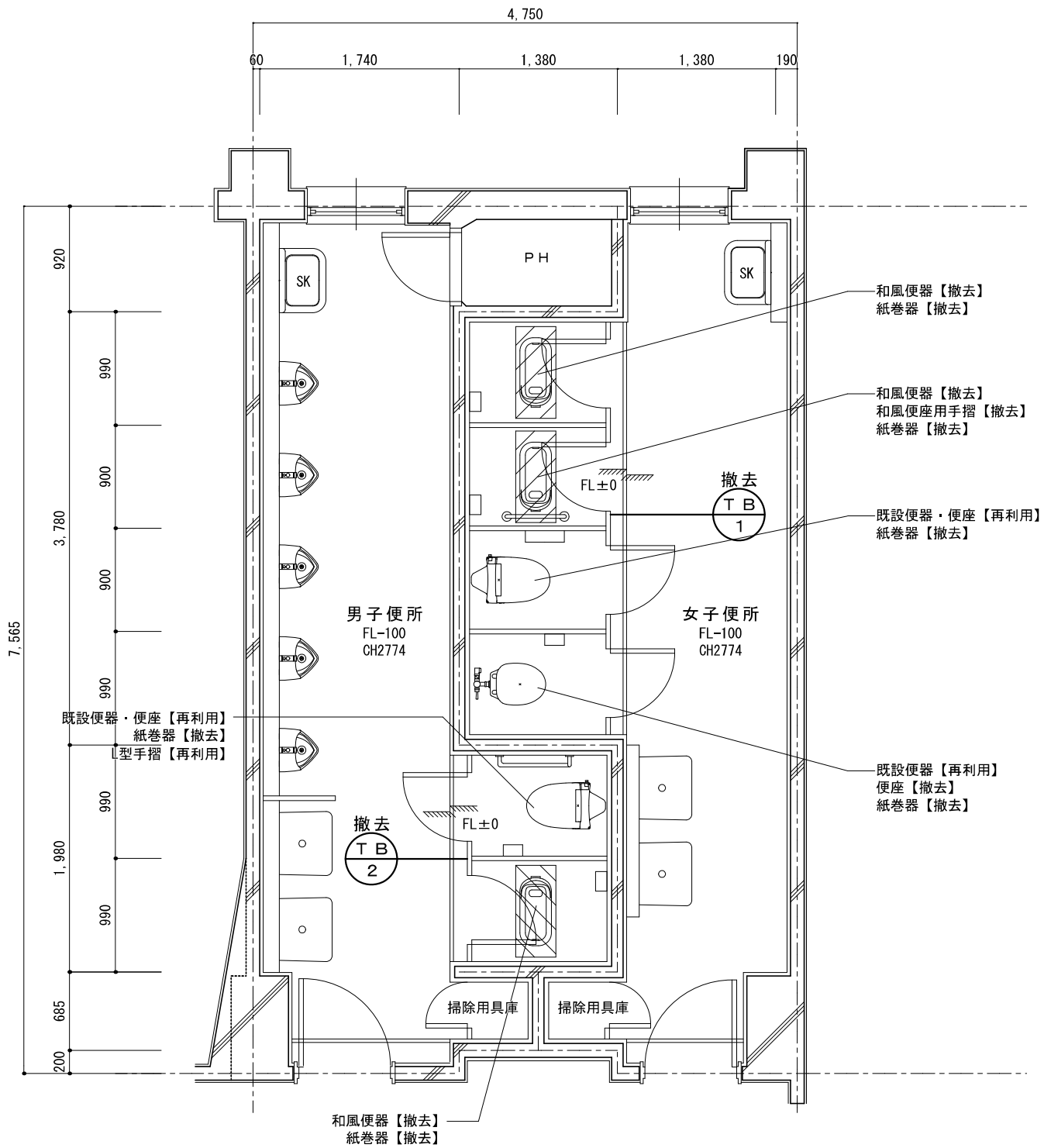
 床復旧範囲を示す

※但し、給水配管に関する撤去及び下地復旧は、メーカー工法作業外とする。

特 記	・ 再利用は現況のままとする	工事名 薦原小学校児童用トイレ等整備工事			 1級建築士事務所 登録 (三重1ー1987号) 〒518ー0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認		管理建築士	印
						田中 西尾 安井	1級 256630号	 萱室 敦司	
						図面番出日	2024/03/22		
		図名 1階便所平面図 現況・改修後	縮尺 A2: 1/50 A3: 1/71	図面番号 Aー 1 4					

2階便所 現況	A2 : S = 1 / 5 0
	A3 : S = 1 / 7 1

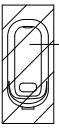
2階便所 改修後	A2 : S = 1 / 5 0
	A3 : S = 1 / 7 1



男子便所		
和風便器	1カ所撤去	設備工事
既設便器（便座共）	1カ所再利用	
紙巻器	2カ所撤去	
L型手摺	1カ所再利用	
トイレブース 撤去		

女子便所		
和風便器	2カ所	撤去
既設便器（便座共）	1カ所	再利用
既設便器	1カ所	再利用
便座	1カ所	撤去
紙巻器	4カ所	撤去
和風便座用手摺	1カ所	撤去
トイレブース 撤去		

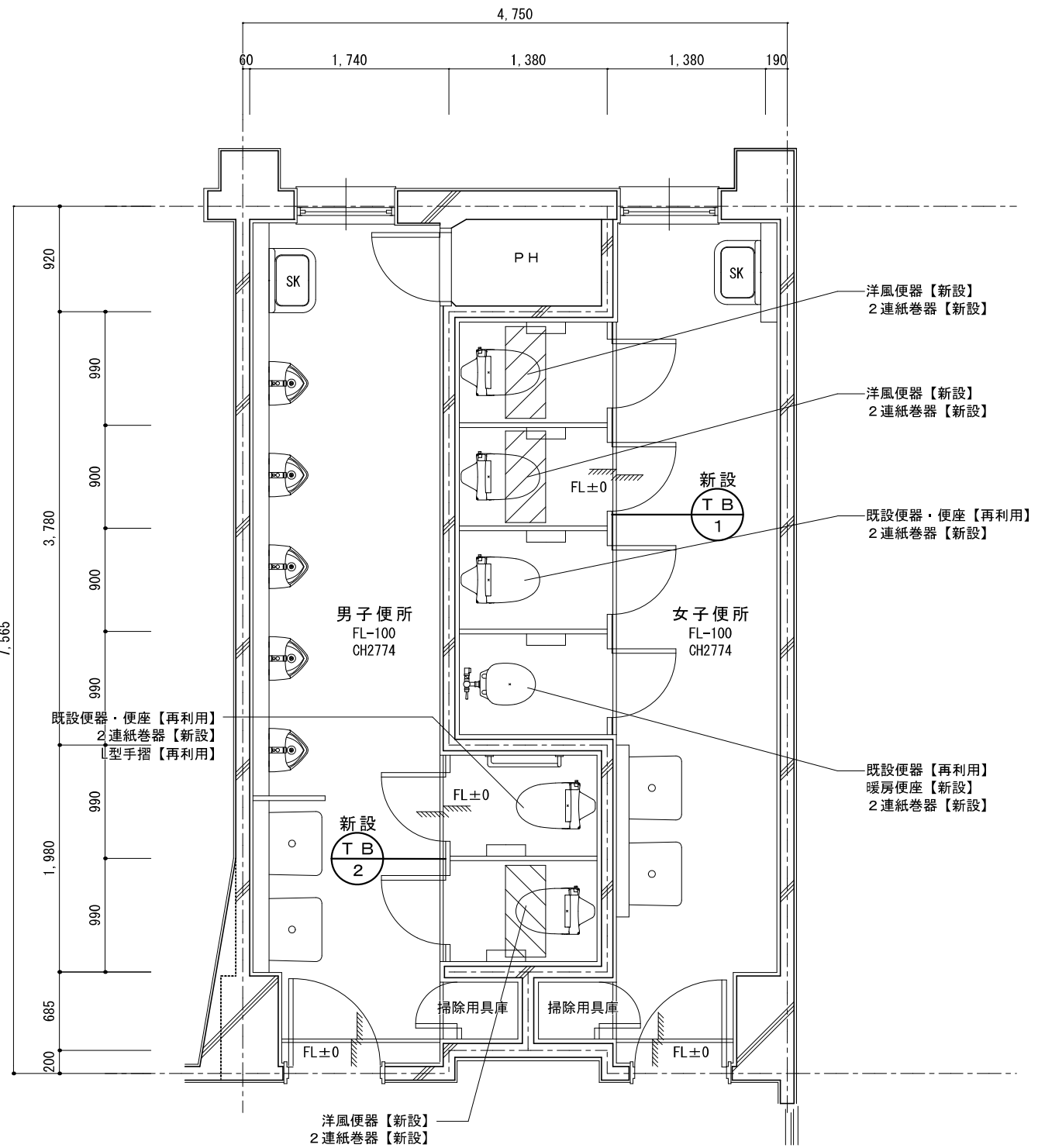
既設床撤去
25角磁器モザイクタイル貼 下地モルタル 目地カッター切
軽量コンクリート 厚50 アスファルト防水層 均しモルタル 厚30 スラブコンクリート 厚120 はつり



カッター切及び
コンクリートはつり範囲
W≒350 L≒800

既設ブース（改修）
耐水ベニヤOP 木製フラッシュ 厚40
表示付きスライドラッチ、表示付き握り玉、
ステンレス笠木、
脚金物 H30、戸当たり金具、丁番型クレ‘ティヒシ’
ブース：H1800、扉：H1800

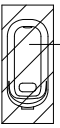
床撤去範囲を示す



男子便所		設備工事
洋風便器 （暖房便座付）	1カ所新設	
既設便器（便座共）	1カ所再利用	
2連紙巻器	2カ所新設	
L型手摺	1カ所再利用	
トイレブース 新設		

女子便所		設備工事
洋風便器 （暖房便座付）	2カ所新設	
既設便器（便座共）	1カ所再利用	
既設便器	1カ所再利用	
暖房便座	1カ所新設	
2連紙巻器	4カ所新設	
トイレブース 新設		

床復旧
25角磁器モザイクタイル貼 下地モルタル
軽量コンクリート 厚50 アスファルト塗膜防水 均しモルタル 厚30 4周差筋アンカー（D10@400 L450） ワイヤーメッシュ φ6×150角 スラブコンクリート 厚120

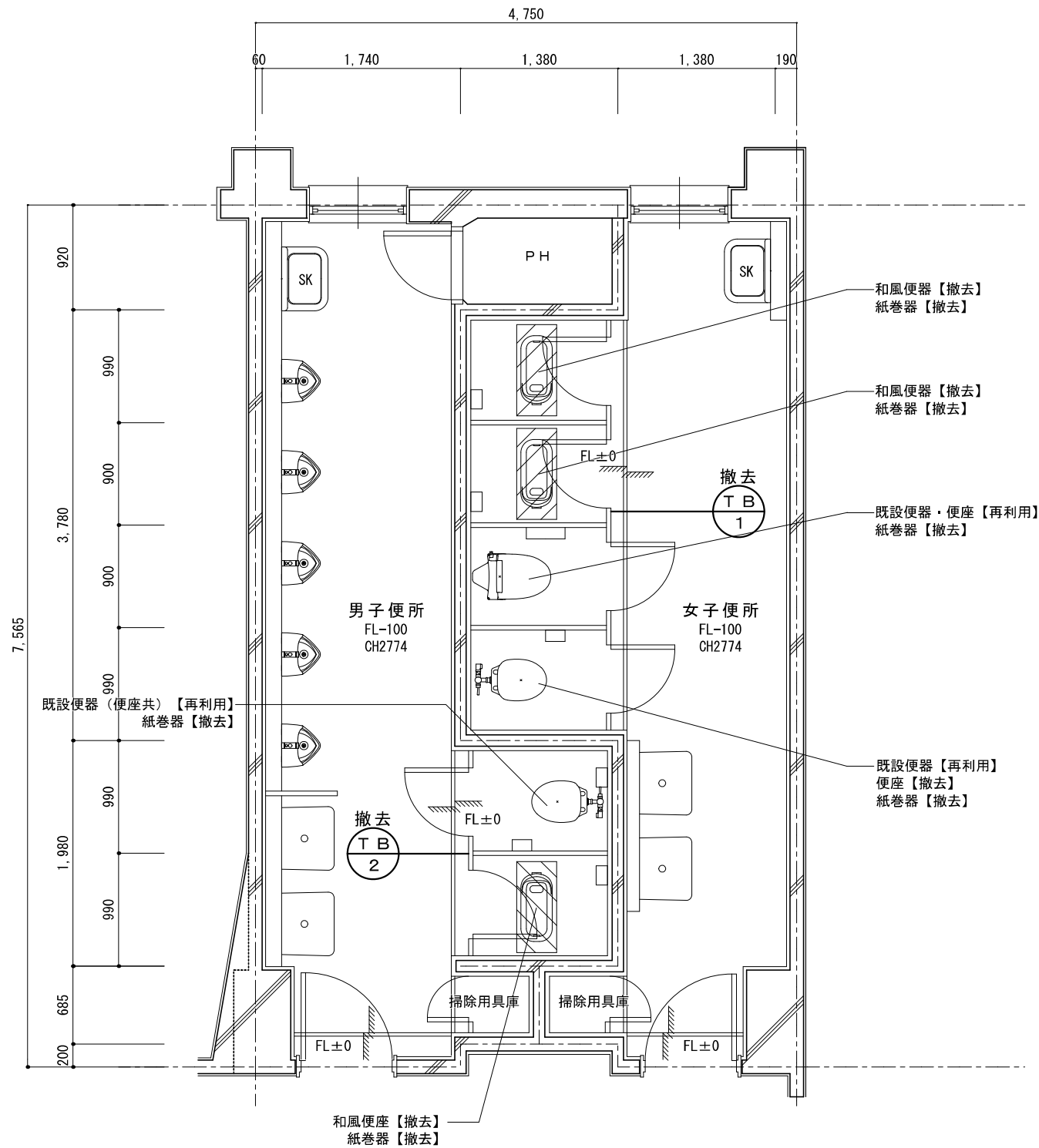


床復旧範囲
W≒350 L≒800

床復旧範囲を示す

特 記	・ 再利用は現況のままとする	工事名 薦原小学校児童用トイレ等整備工事			 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録（三重1－1987号） 〒518－0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認			管理建築士	印
								  	1級 256630号		
		図名 2階便所平面図					縮尺 A2：1／50 A3：1／71	図面番号 A－15			
		現況・改修後								図面提出日 2024/03/22	

3階便所 現況	A2 : S = 1 / 5 0
	A3 : S = 1 / 7 1
3階便所 改修後	A2 : S = 1 / 5 0
	A3 : S = 1 / 7 1



男子便所	
和風便器	1カ所撤去
既設便器（便座共）	1カ所再利用
紙巻器	2カ所撤去
設備工事	
トイレブース 撤去	

女子便所	
和風便器	2カ所撤去
既設便器（便座共）	1カ所再利用
既設便器	1カ所再利用
便座	1カ所撤去
紙巻器	4カ所撤去
設備工事	
トイレブース 撤去	

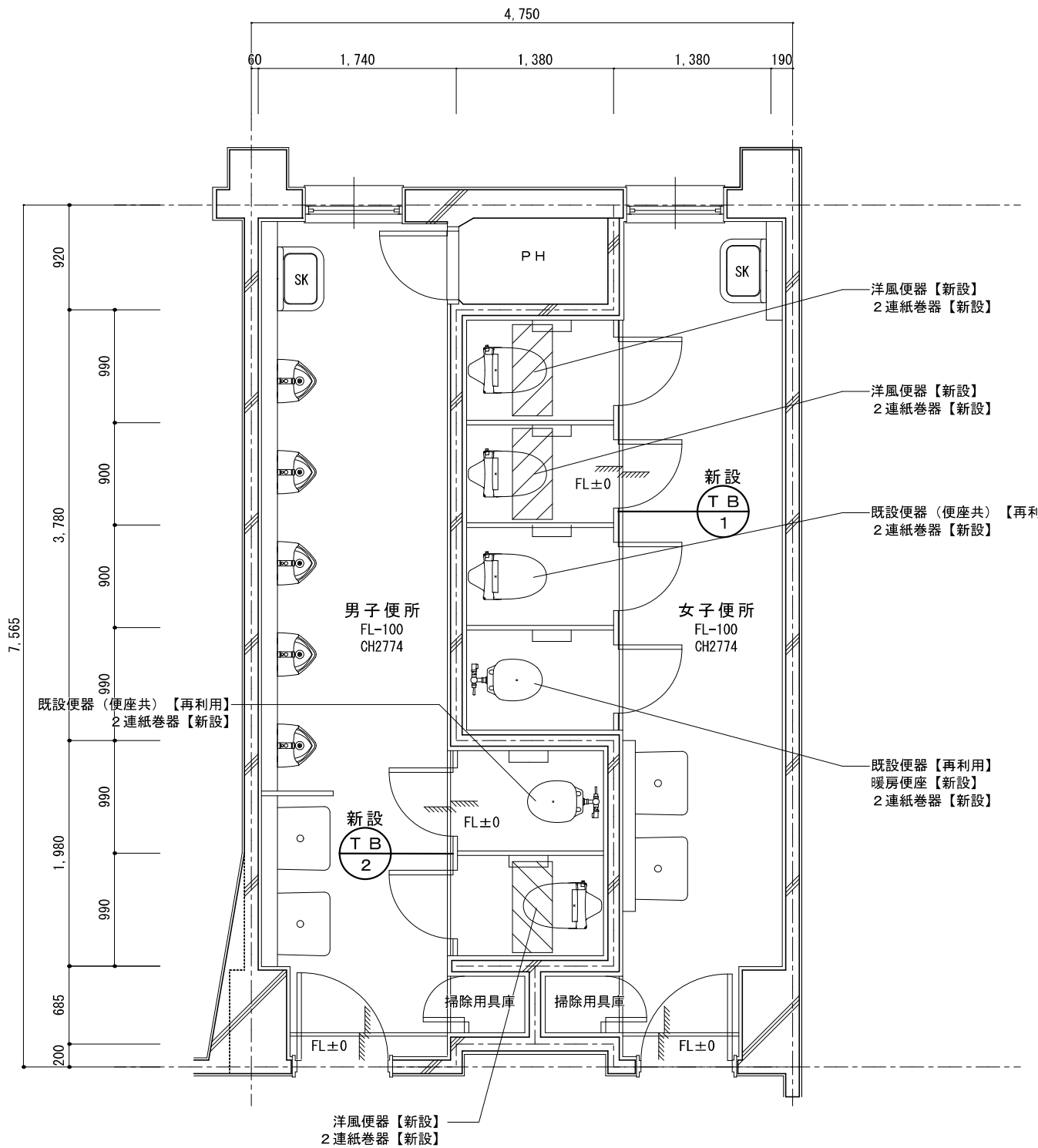
既設床撤去	
25角磁器モザイクタイル貼	
下地モルタル	
目地カッター切	
軽量コンクリート 厚50	
アスファルト防水層	
均しモルタル 厚30	
スラブコンクリート 厚120	
はつり	



カッター切及び
コンクリートはつり範囲
W≒350 L≒800

既設ブース（改修）
耐水ベニヤOP 木製フラッシュ 厚40
表示付きスライドラッチ、表示付き握り玉、
ステンレス笠木、
脚金物 H30、戸当たり金具、丁番型クレビティヒンジ
ブース：H1800、扉：H1800

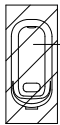
床撤去範囲を示す



男子便所	
洋風便器	1カ所新設
（暖房便座付）	
既設便器（便座共）	1カ所再利用
2連紙巻器	2カ所新設
設備工事	
トイレブース 新設	

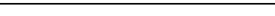
女子便所	
洋風便器	2カ所新設
（暖房便座付）	
既設便器（便座共）	1カ所再利用
既設便器	1カ所再利用
暖房便座	1カ所新設
2連紙巻器	4カ所新設
設備工事	
トイレブース 新設	

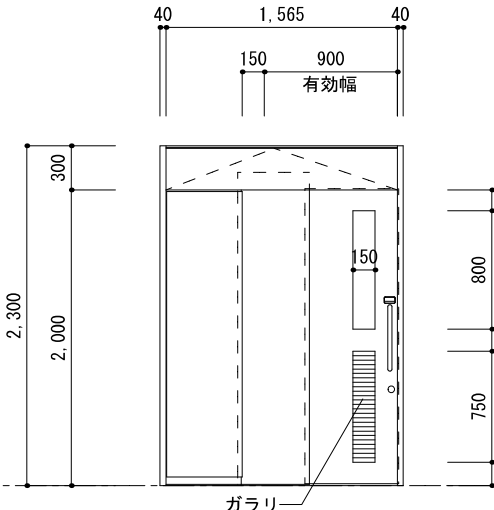
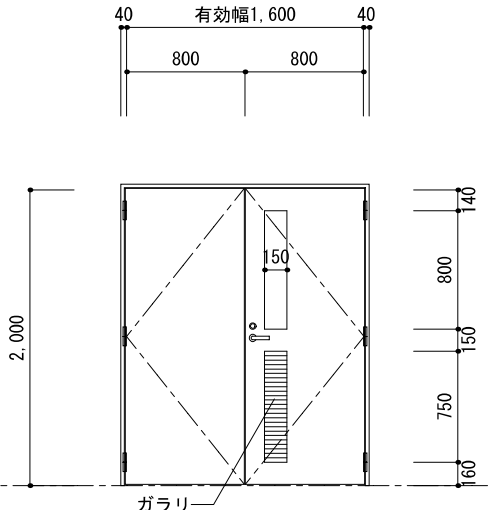
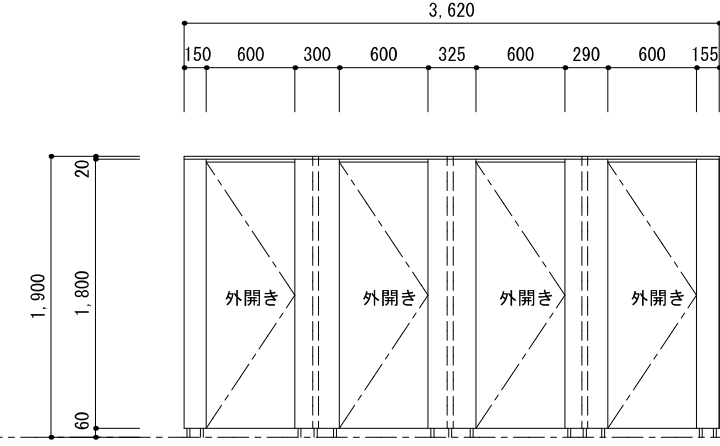
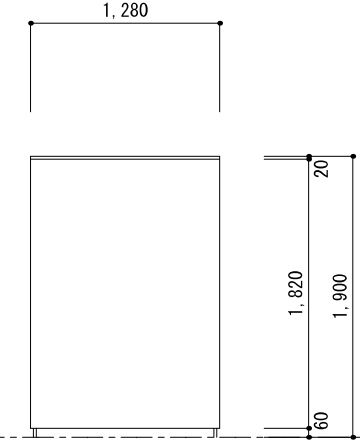
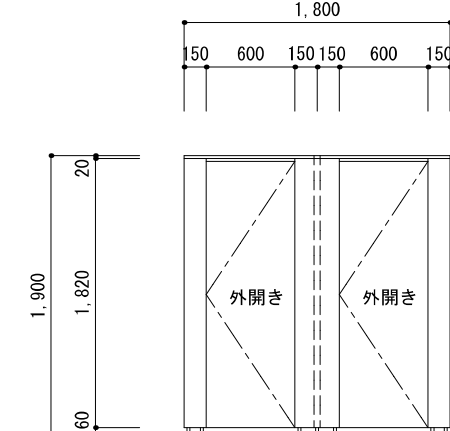
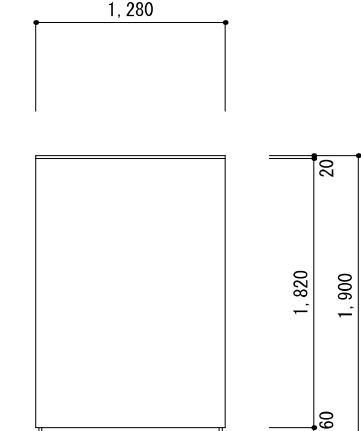
床復旧	
25角磁器モザイクタイル貼	
下地モルタル	
軽量コンクリート 厚50	
アスファルト塗膜防水	
均しモルタル 厚30	
4周差筋アンカー（D10@400 L450）	
ワイヤーメッシュ φ6×150角	
スラブコンクリート 厚120	



床復旧範囲
W≒350 L≒800

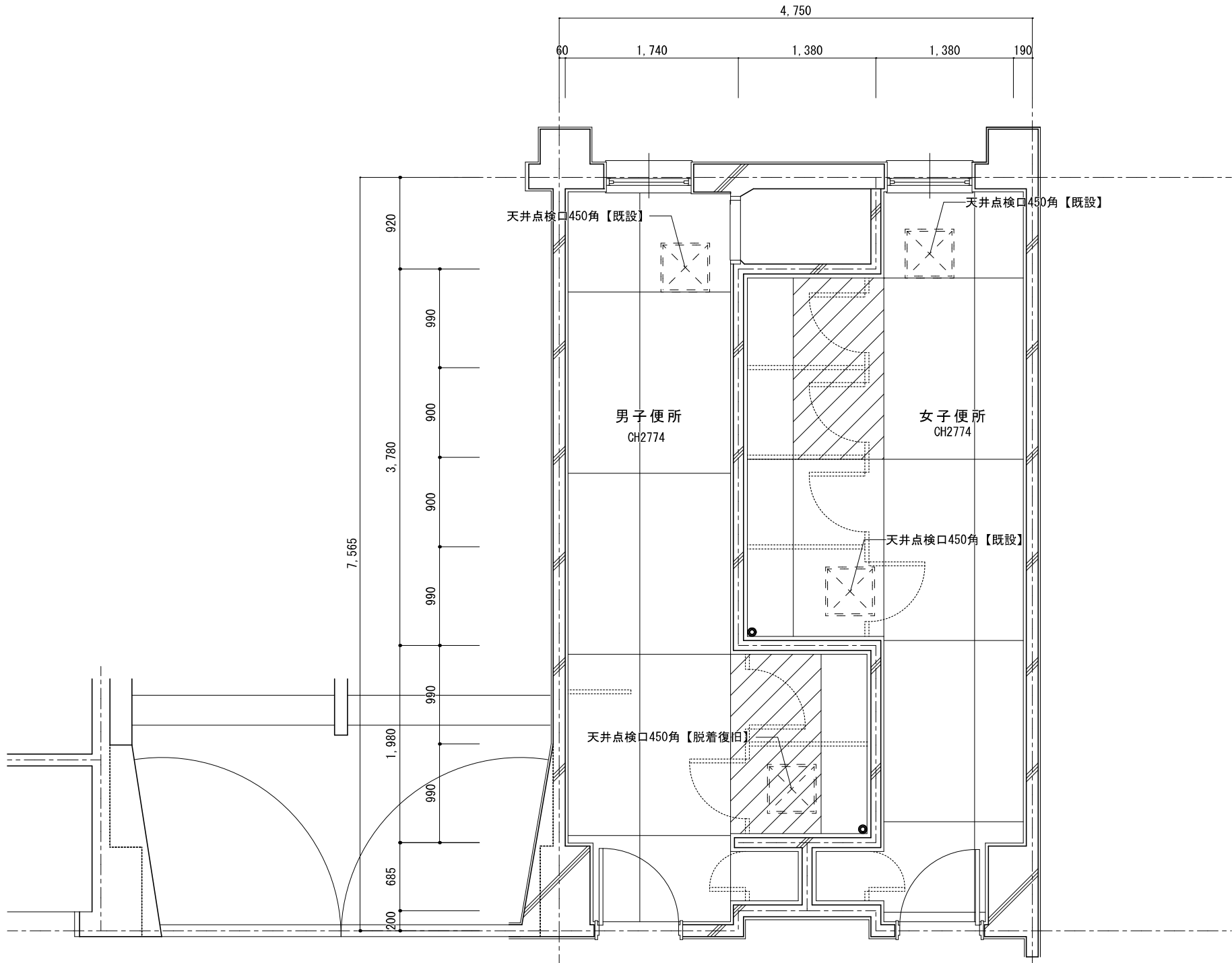
床復旧範囲を示す

特 記	・ 再利用は現況のままとする	工事名 薦原小学校児童用トイレ等整備工事			 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録（三重1－1987号） 〒518－0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認			管理建築士	印
		図名 3階便所平面図 現況・改修後	縮尺 A2：1／50 A3：1／71	図面番号 A－16						1級 256630号 萱室 敦司	
							図面提出日 2024/03/22				

建 具 表 S = 1 / 5 0														
記 号 . 数 量		L S D - 1 【新設】		1 階多目的便所	1	L S D - 2 【新設】		1 階資料室	1					
姿 図														
建 具		軽量ハンガードア 手動 2連引込み 片面戸袋納まり			軽量両開きドア									
硝 子		型板ガラス 厚4			型板ガラス 厚4									
備 考		化粧鋼板仕上 厚0.6 枠：スチール 厚1.6 焼付塗装、点検カバー：スチール 厚1.2 焼付塗装			化粧鋼板仕上 厚0.6 上枠・たて枠：スチール 厚1.6 焼付塗装									
金 物		ハンガーローラー、表示付シンダー錠、大型サムターン、引き棒：SUS L=600 自閉ストッパー、アルミガラリ			レバーハンドル錠、ドアクローザー、フランス落し、丁番 戸当り、アルミガラリ									
見 込		扉：54			扉：40									
記 号 . 数 量		T B - 1 【新設】					1・2・3 階女子便所	3						
姿 図								< 3 枚 >						
建 具		トイレブース【新設】												
硝 子		ー												
備 考		ポリエステル樹脂化粧板仕上												
金 物		ドアエッジ・戸当りエッジ・壁レール・笠木：アルミ製、ステンレス製脚金物 戸当り金具、表示付スライドラッチ、ラバトリヒンジ												
見 込		4 0												
記 号 . 数 量		T B - 2 【新設】					1・2・3 階男子便所	3						
姿 図								< 1 枚 >						
建 具		トイレブース【新設】												
硝 子		ー												
備 考		ポリエステル樹脂化粧板仕上												
金 物		ドアエッジ・戸当りエッジ・壁レール・笠木：アルミ製、ステンレス製脚金物 戸当り金具、表示付スライドラッチ、ラバトリヒンジ												
見 込		4 0												
特 記				工事名			 1級建築士事務所 登録（三重1-1987号） 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp			承 認  1級 256630号 萱室 敦司		印 		
				図名 建具表										
				縮尺 A2：1/50 A3：1/71										
				図面番号 A-17										
図面提出日 2024/03/22														

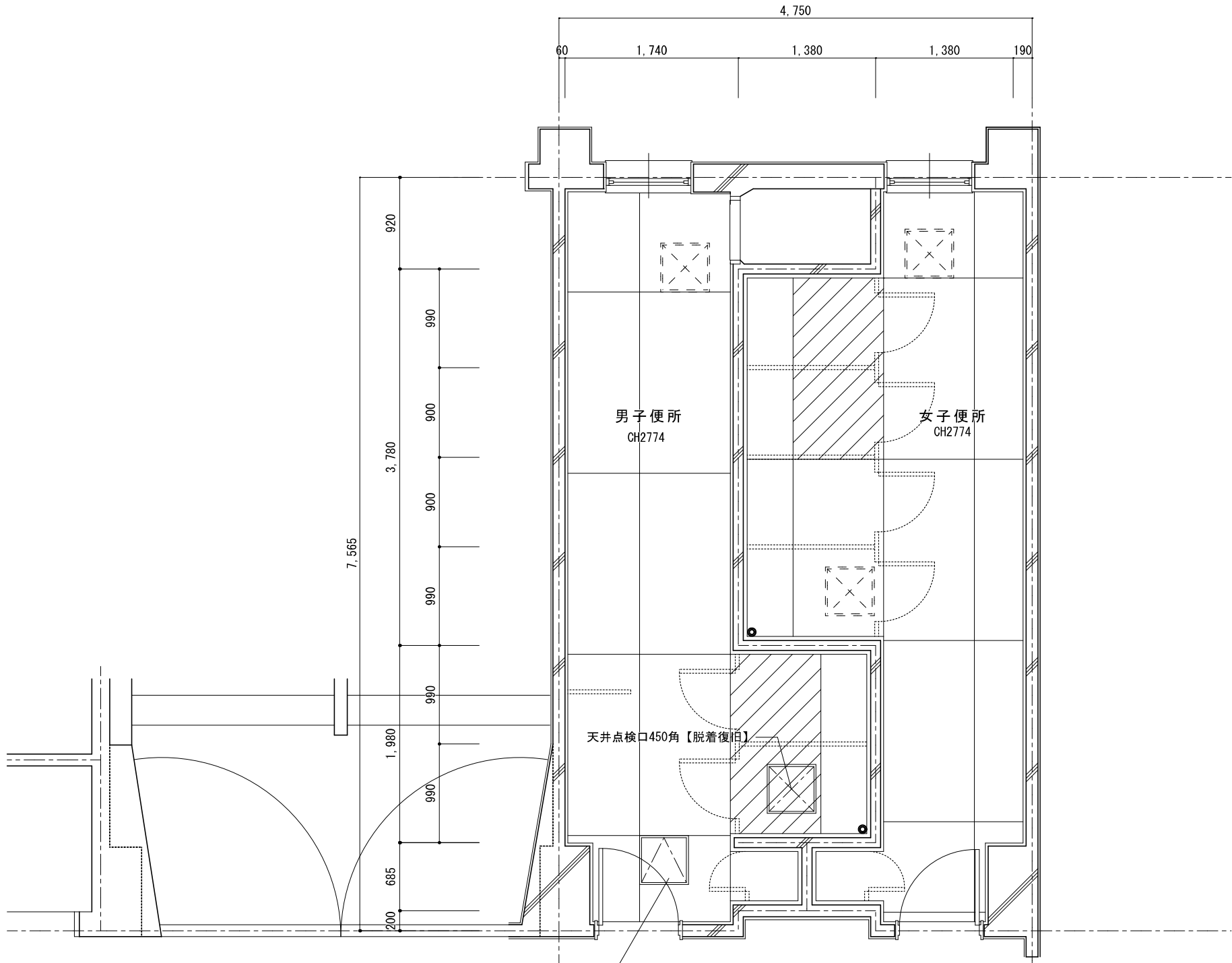
部分詳細図 S = 1 / 2 0				
部分詳細図	1 階 女子・男子便所 床撤去・復旧詳細図（ネット工法） S = 1 / 2 0	2・3 階 女子便所・男子便所 床撤去・復旧詳細図 S = 1 / 2 0		
部分詳細図	1 階 多目的便所 床撤去・復旧詳細図 S = 1 / 2 0	多目的便所 設備壁詳細図 S = 1 / 2 0		

1階便所 現況	A2 : S = 1 / 5 0
	A3 : S = 1 / 7 1
1階便所 改修後	A2 : S = 1 / 5 0
	A3 : S = 1 / 7 1



男子便所・女子便所	
天井：	有孔石綿ボード 厚5 底目地貼 VP塗装 一部 ケイ酸カルシウム 厚6 【一部撤去】
廻り縁：	塩ビ製 【一部撤去】
天井点検口450角	【脱着復旧】

- 天井撤去・新設範囲を示す
- 既設電気配線位置を示す



男子便所・女子便所	
天井：	ケイ酸カルシウム板 厚5 EP塗装（周囲に合わせる） 【一部新設】
廻り縁：	塩ビ製 【一部新設】
天井点検口450角	【2カ所新設】
天井点検口450角	【1ヶ所脱着復旧】

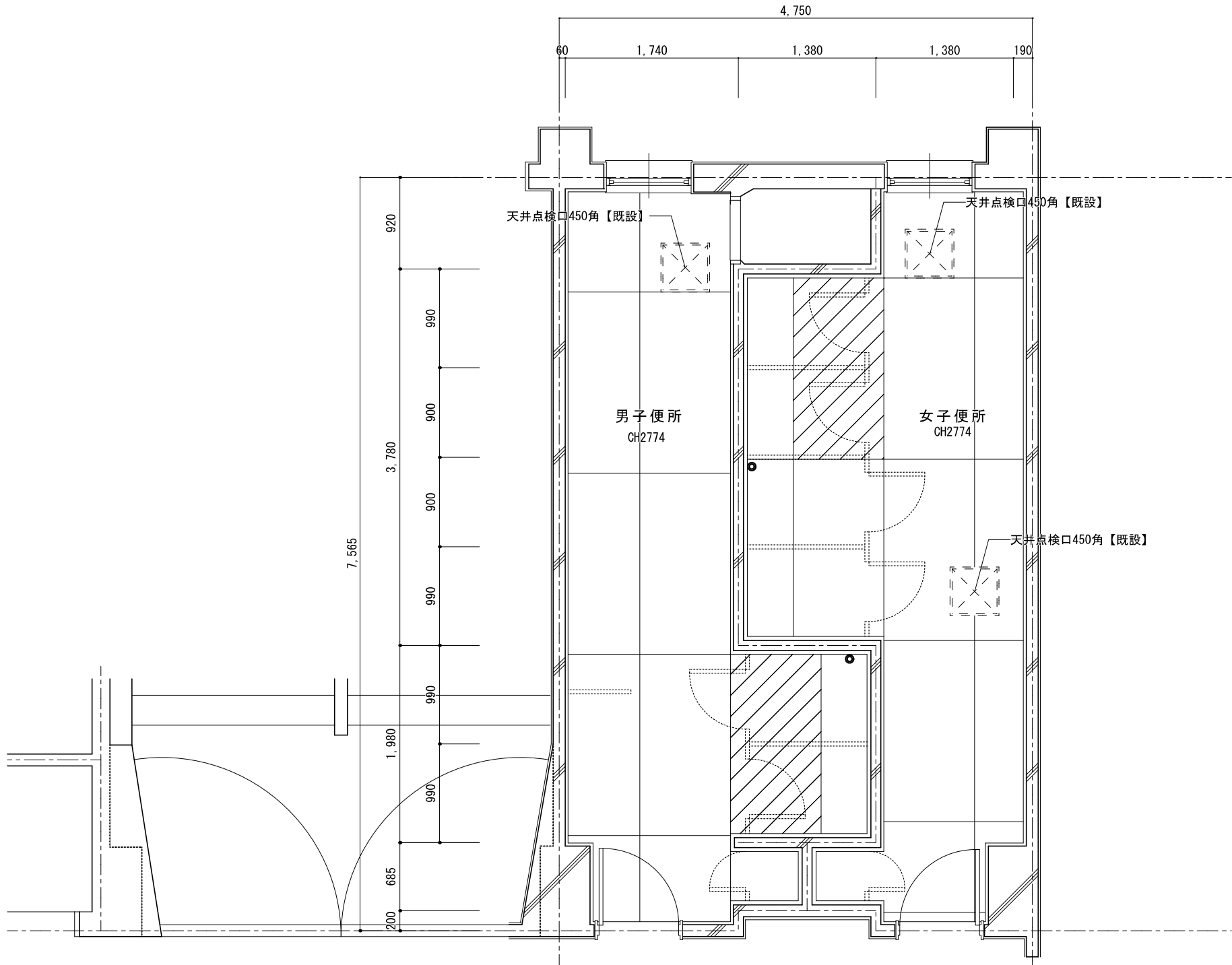
- 天井撤去・新設範囲を示す
- 既設電気配線位置を示す

特 記	工事名 薦原小学校児童用トイレ等整備工事			 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録（三重1－1987号） 〒518－0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認			管理建築士	印	
	図名 1 階便所天井伏図 現況・改修後					縮尺 A2：1／50 A3：1／71	図面番号 A－19	  	1級 256630号		
	図面提出日					2024/03/22			萱室 敦司		



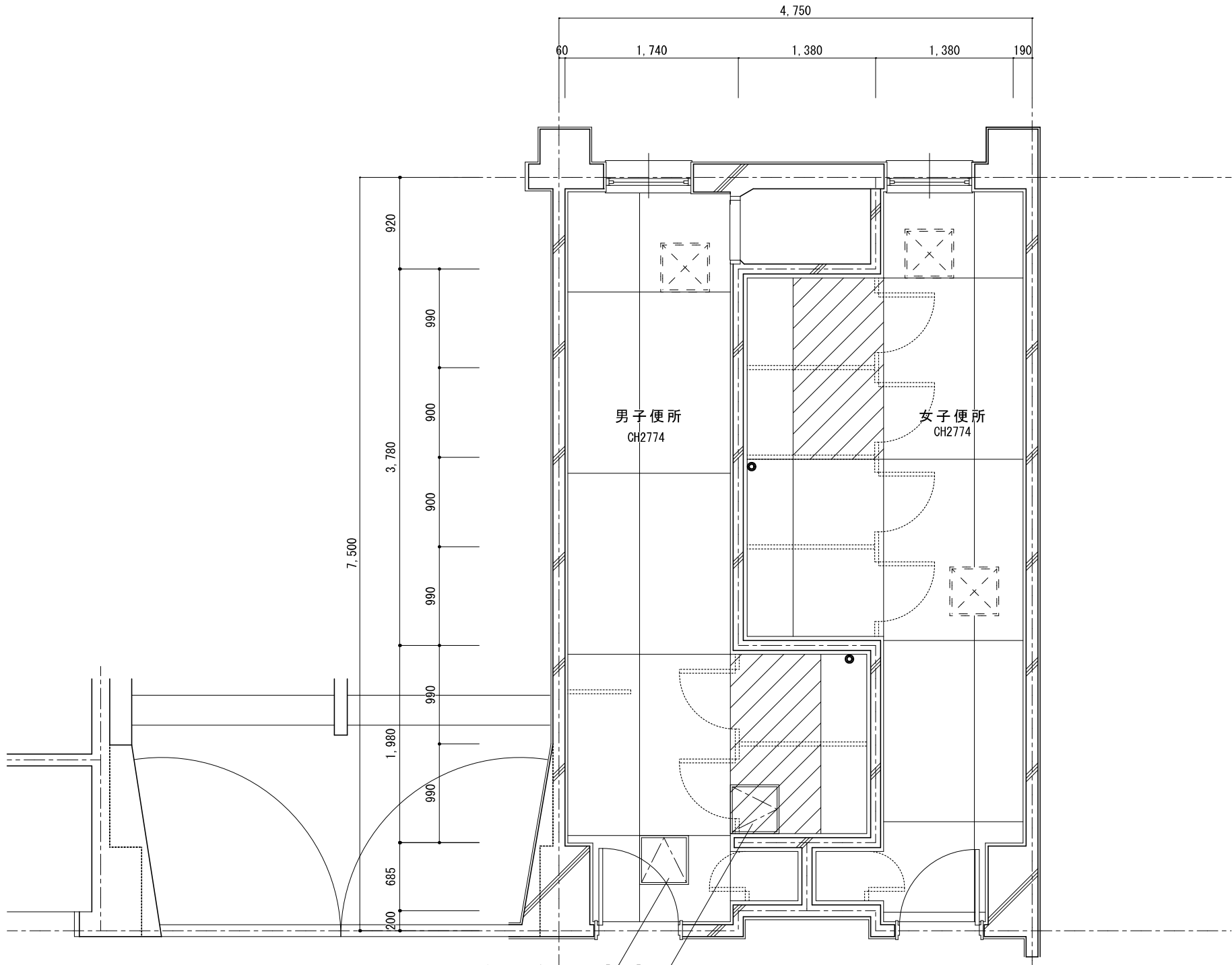
2階便所	A 2 : S = 1 / 5 0
現 況	A 3 : S = 1 / 7 1

2階便所	A 2 : S = 1 / 5 0
改 修 後	A 3 : S = 1 / 7 1



男子便所・女子便所	
天井：	有孔石綿ボード 厚5
底目地貼：	VP塗装
一部：	ケイ酸カルシウム 厚6
【一部撤去】	
廻り縁：	塩ビ製
【一部撤去】	

- 天井撤去・新設範囲を示す
- 既設電気配線位置を示す

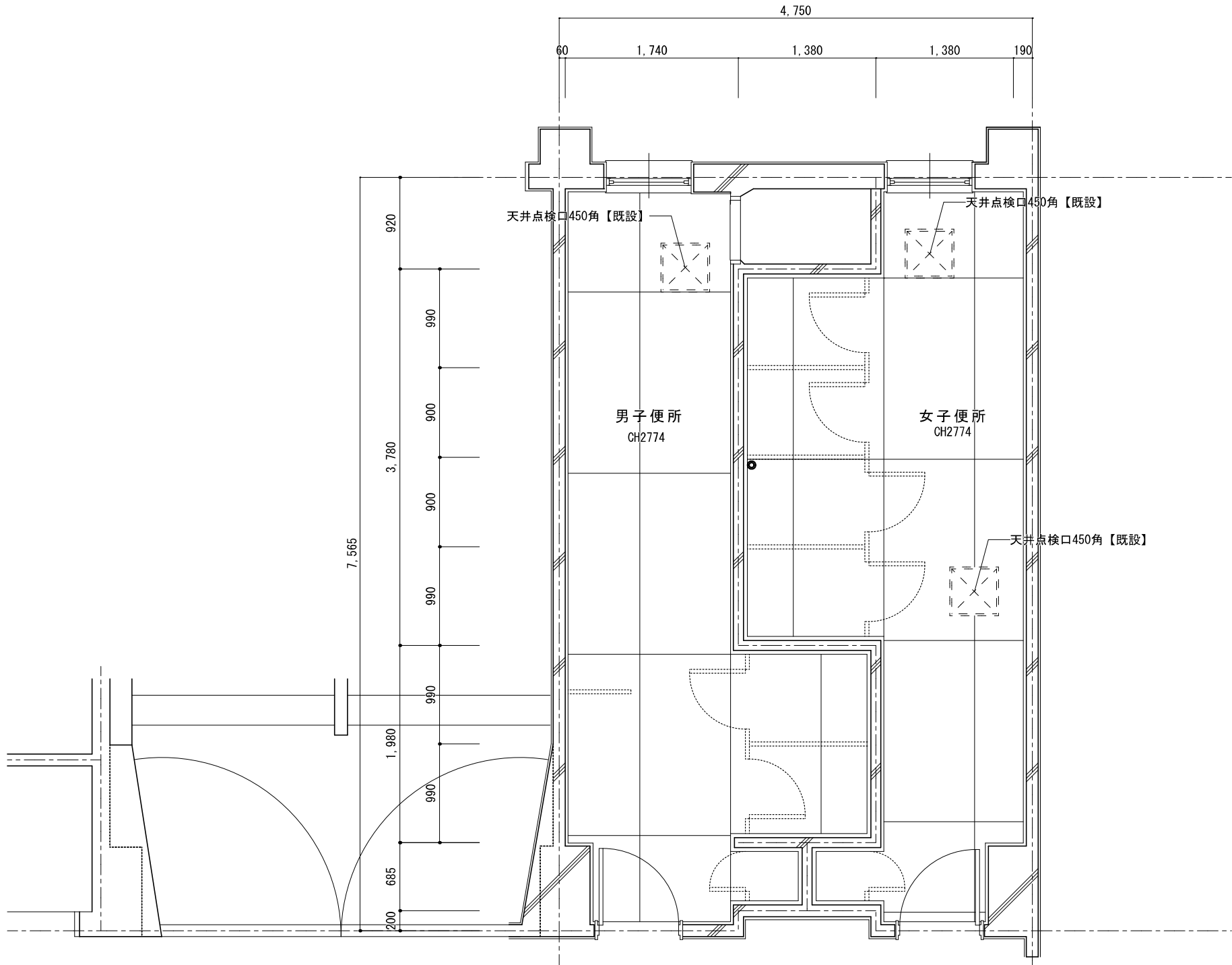


男子便所・女子便所	
天井：	ケイ酸カルシウム板 厚5
底目地貼：	VP塗装
一部：	ケイ酸カルシウム 厚6
【一部新設】	
廻り縁：	塩ビ製【一部新設】
天井点検口【3カ所新設】	

- 天井撤去・新設範囲を示す
- 既設電気配線位置を示す

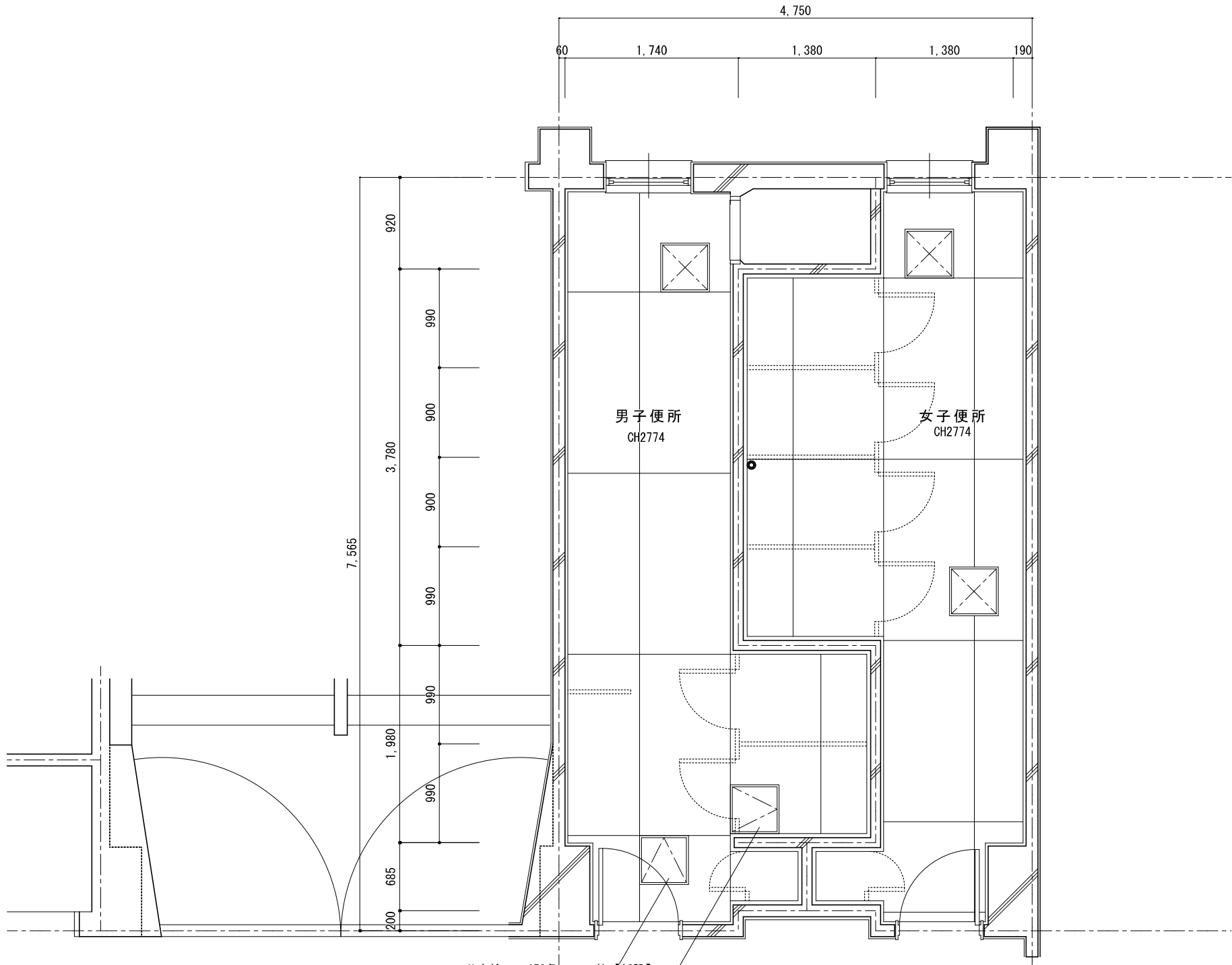
特 記	工事名 薦原小学校児童用トイレ等整備工事			 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録（三重1ー1987号） 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認			管理建築士	印
	図名 2階便所天井伏図 現況・改修後					縮尺 A2：1／50 A3：1／71	図面番号 A－20	  	1級 256630号	
	図面提出日		2024/03/22			査室 敦司	査室			

3階便所 現況	A2 : S = 1 / 5 0
	A3 : S = 1 / 7 1
3階便所 改修後	A2 : S = 1 / 5 0
	A3 : S = 1 / 7 1



男子便所・女子便所	
天井：	有孔石綿ボード 厚5 底目地貼 VP塗装 一部 ケイ酸カルシウム 厚6 【現状のまま】
廻り縁：	塩ビ製 【現状のまま】

- 天井撤去・新設範囲を示す
- 既設電気配線位置を示す



男子便所・女子便所	
天井：	ケイ酸カルシウム板 厚5 EP塗装（周囲に合わせる） 【現状のまま】
廻り縁：	塩ビ製【現状のまま】
天井点検口	【3ヵ所新設】

- 天井撤去・新設範囲を示す
- 既設電気配線位置を示す

特記	工事名 薦原小学校児童用トイレ等整備工事			HAKUHO Architech 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録（三重1-1987号） 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認 田中 西尾 安井 2024/03/22	管理建築士 1級 256630号 萱室 敦司	印 萱室
	図名 3階便所天井伏図	縮尺 A2 : 1 / 50 A3 : 1 / 71	図面番号 A-21					
	現況・改修後							